【令和元年度総括報告】

「公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会」として８年目を迎え、県域の聴覚障害者当事者団体として運動と事業を担いながらこの１年間活動を推進してきました。以下のとおり報告いたします。

【全国の運動】

一般財団法人全日本ろうあ連盟は、加盟団体と共に手話言語法制定運動を展開し、国に対して「手話言語法」（仮称）の早期制定を求めて現在も運動を継続しています。手話言語条例については、令和元年度も地方自治体に於いて次々と制定され、令和２年３月３０日現在、２８県１２区２４９市５１町１村の計３４１自治体で手話言語条例が制定されています。全国手話言語市区長会は５４４市区長の入会があり、兵庫はすべての市（29 市）が加入しています。また、「情報・コミュニケーション法」（仮称）の制定も課題として取り組みがされています。

旧優生保護法による障害者の強制不妊手術について、全日本ろうあ連盟は、聴覚障害者の被害の実態調査の方針を打ち出し、連盟加盟団体を中心に被害の実態調査を始めました。その調査結果、連盟としての見解を公表しています。

【兵庫の運動】

引き続き、現在の役員体制のもと、聴覚障害者が安心して暮らせる社会の実現に向けて引き続き運動と事業の推進に取り組んでいるところです。

「手話言語条例」制定に関しては、令和元年度中に市議会で手話言語条例を可決した市は、高砂市です。合わせて県内は２６自治体（２３市１町）で手話言語条例が制定されており、全国的に見ても手話言語条例の制定が多い県であります。施行後の手話言語に係る施策を推進していくことも重要な課題です。今後も県及び未制定の市町に手話言語条例が制定されるよう県下各ろうあ協会、手話関係者等とともに、議会や行政に働きかけるとともに条例が施行されている市町に対して施策が広まるよう連携していきましょう。なお、兵庫県手話言語条例（仮称）の制定については、まだ実現されておらず、引き続き働きかけていきます。

会員拡大については昨年比４７名減少の７１２名でした。会員の減少にはさまざまな要因がありますが、社会不況による経済的な理由や人間関係、団体の必要性が見えないなどが挙げられます。会員数の減少は運動の後退につながるので、当法人と県下各ろうあ協会が連携しながら課題の克服に取り組みたいと思います。

旧優生保護法による聴覚障害者の強制不妊手術、断種、中絶の問題について、施行した国に対して、子どもを産む権利や育てる権利を奪われた障害者が全国各地で訴訟が展開されており、兵庫からも２組の聴覚障害者夫婦と脳性麻痺の女性が訴訟行動を展開しています。当協会としても支援に取り組んでいます。

ダスキン・アジア太平洋障害者リーダー育成事業では、第２１期研修生のモハメド・アーワン（モルディブ）を受け入れ、協会の運営する各事業所において研修を実施しました。

日本聴力障害新聞の取り組みは、目標（読者数 1,006 部）のところ６１０部で未達成ですが、少しずつ購読を増やしています。季刊みみの購読も併せて今後とも拡大にご協力をお願いします。

【協会の事業】

公益社団法人に移行して８年目を迎えました。兵庫県ろうあ者大会や兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどいをはじめ各種行事を実施しました。また、きこえない、きこえにくい未就学児とその家族の手話コミュニケーションの芽を育む場として「手話でお話しよう『ひよこ』」を始めています。

兵庫県立聴覚障害者情報センター、たじま聴覚障害者センター、はりまふくろうの家、にしのみや聴覚障害者センター、たつのころうあハウス、たつのこ工房、ひょうご聴覚障害者介護支援センターの運営事業に関しても行政機関をはじめ関係機関、地域ろうあ協会等と連携を図りながら、円滑な運営に努めています。社会福祉の現状は厳しいものがあり、例えば、はりまふくろうの家はこれまで通所していた障害者が 65 歳になると本人の意思とは関係なく、利用の減少や打ち切りをし、介護保険のサービス利用を強いられる問題があります。兵庫県立聴覚障害者情報センターにおいては県からの運営費の据え置きが続いています。各事業所においても安定した運営が課題となっています。今後も聴覚障害者の権利と生活を守りながら、さまざまな課題の解消に向けて取り組んでいきます。

【今後の取り組み】

当協会に結集する仲間を増やすために会員拡大や組織強化に取り組んでいきます。赤穂ろうあ協会が当協会と西播ろうあ団体連絡会の支援で基盤が固まり再結成しました。今後も地域のろうあ協会の結成や組織強化に務めていきます。

神戸市において神戸ろうあハウスの移転を含む「長田ふくろうの杜」建設が具体化してきました。今秋には完成、開所の見込みです。

聴覚障害者のための社会資源は、まだまだ少ないのが実状です。手話言語条例も含めて私たちは、地域の聴覚障害者が安心して手話で豊かなコミュニケーションができる事業所などの拠点を創出していく必要があります。

新型コロナウイルスによる感染拡大が広がり、感染拡大防止のため、行事を中止やろうあ兵庫等で注意を呼びかけています。知事会見の手話通訳配置をはじめ情報センターの動画配信などコロナウイルスに関する情報発信、情報保障につとめていきます。病院受診の手話通訳についてもコミュニケーションが保障されるよう取り組んでいきます。

今後とも聴覚障害者に対する理解を広め、社会参加を促進し、聴覚障害者及び手話を学ぶ者をはじめ、県民すべてに聴覚障害関連及び福祉の増進に関する事業を行い、社会福祉の発展に寄与してまいりますので引き続きご支援ご協力をお願いします。

公ー１聴覚障害者の福祉向上のための事業

（概要）

聴覚障害者の生活支援や文化的活動および手話通訳者等の養成・派遣、一般企業や障害者事業所を利用されることが困難な障害者に就労、生きがいの場の提供、調査研究などに通じて聴覚障害者の福祉向上を図っている。

１．手話通訳者などの講師養成事業

県及び市町村レベルの手話奉仕員・手話通訳者養成講習会の指導者を養成する。

（1）手話奉仕員養成事業講師講習会

ア．開催期間：入門編　令和元年7月 12 日（金）～１１月8日（金）全１５回

イ．開催場所：姫路市総合福祉会館

ウ．受講人数：５０名（ろう者２６名、聞こえる人２４名）　【修了者４９名】

（２）手話通訳者養成事業講師研修会

ア．開催期間：手話通訳Ⅰ　令和元年１１月２２日（金）～2月２８日（金）１２回

中止：３月６日㈮、13 日㈮、27 日（金）

イ．開催場所：宝塚福祉コミュニティプラザぷらざこむ1

ウ．受講人数：20 名（ろう者８名、聞こえる人１２名）

２．手話学習会

（１）手話対策部学習会

県内の手話対策部長や関係者が集い、学習や情報・意見交換を行うと共に今後の運動に結びつけていく。

ア．開催日時：令和元年９月８日（日）

イ．開催場所：神戸市勤労会館

ウ．参加人数：１６名

エ．情報意見交換「手話通訳者統一試験、手話検定について」

３．講師派遣事業

手話講座を主催している団体（学校、手話サークル等）からの要請に応じて、講師を派遣。

（１）内容

手話奉仕員養成・通訳者養成講座（実技、講義）、手話通訳者現任研修会、手話言語条例、
兵庫県の災害と防災について、聴覚障害者支援事業について、ろうあ運動、相談支援研修会など

（２）派遣回数　211 件／845 回

小学校５件／5回、高等学校２件／12 回、大学６件／75 回、奉仕員養成（実技）2件／23 回、奉仕員養成（講義）17 件／36 回、ステップアップ講座７件／64 回、通訳者養成９件／240 回、通訳者養成（講義）10 件／32 回、統一試験対策 15 件／46 回、登録試験１件／1 回、現任研修会 19 件／46 回、講師研修会４件／29 回、研修会 15 件／26 回、学習会 12 件／14 回、講演・シンポジウム 12 件／12 回、難聴・中途失聴者関係７件／10 回、はじめての手話入門 15 件／15 回、若者向け手話講座 38 件／124 回、出前手話講座 15 件／35 回

（３）講師

当法人理事、認定手話通訳者、登録講師

（４）講師研修会

ア．開催日時：令和２年１月１６日（土）

イ．開催場所：あすてっぷ神戸

ウ．参加人数：４８名

エ．テーマ「手話や聞こえないことを広めるために」

４．手話通訳認定事業

（１）手話通訳者派遣事業の円滑な運営を図るため、実技及び面接などによる選考を行い、合格した手話通訳者を当協会の認定手話通訳者として登録する。

ア．開催日時：令和２年２月２２日（土）９時半～１２時半

イ．開催場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター

ウ．受験者数：５名

エ．合格者数：１名

５．手話通訳者派遣事業

（１）認定手話通訳者派遣

ア．派遣回数　５８６件

（２）認定手話通訳者研修会

第１回研修会

- 日　時　令和元年６月１日（土）
- 場　所　神戸市障害者福祉センター
- 出席者　２３名
- 内　容　平成３０年度．兵聴協派遣事業報告･反省
  令和元年度兵聴協活動方針･事業計画について

第２回研修会

- 日　時　令和元年１１月３０日（土）
- 場　所　兵庫県立聴覚障害者情報センター
- 出席者　１１名
- 内　容　派遣事業の現状報告
  通訳現場における注意事項の確認

６．ろうあ兵庫

２０１９年度の「ろうあ兵庫」編集活動においては、兵聴協として重点的に取り組んでいる事項についてトップページに掲載しました。各部の記事については定期的に情報を掲載してきました。掲載については、前年度に続き、各部ごとに半ページに縮小し、空白・無駄を省き、読みやすいようにフォントの統一などを図りました。また、編集の体制を整え、発行日である毎月の１日に読者にお届けできるよう努めてまいりました。今後とも、聴覚障害者福祉の向上及び啓発のため、ろうあ運動を中心に掲載してまいりたいと思います。

主な内容

・4月号　第４６９号：ひょうご労働・福祉２０１９　等　（１２頁）
・5月号　第４７０号：旧優生保護法　第2回裁判　等　（１２頁）
・6月号　第４７１号：赤穂ろうあ協会設立記念式典　等　（１４頁）
・7月号　第４７２号：第６７回全国ろうあ者大会が宮城県にて開催！　等　（１２頁）
・8月号　第４７３号：第３６回兵庫県ろうあ者大会 in 加東が無事開催されました！　等（１４頁）
・9月号　第４７４号：第５２回全国手話通訳問題研究集会が奈良にて開催！　等　（１４頁）
・１０月号　第４７５号：ひょう手話フォーラムを開催！　等　（１２頁）
・１１月号　第４７６号：第１５回兵庫県聴覚障害者文化祭を開催！　等　（１４頁）
・１２月号　第４７７号：第5回兵庫県ろうあ者討論集会を開催しました！　等　（１２頁）
・1月号　第４７８号：新年のあいさつ　等　（１２頁）
・2月号　第４７９号：日本の聴覚障害者として英語を習得すること　等　（１２頁）
・3月号　第４８０号：聞こえない子どもたちの明日のために！
ろう教育の未来へつなごう！　等　（１２頁）

7．調査研究事業

（1）「聴覚障害者の強制不妊手術等の実態調査及び旧優生保護法による聴覚障害者の強制不妊手術等取り組みについて」、２０１９年度兵庫県における身障者相談員に関する調査、参考資料等（福祉対策部）

全日本ろうあ連盟福祉担当者会議及び聴覚障碍者の強制不妊手術等の実態調査実施の状況を分析し、それぞれの事業の現状や問題点・課題等情報収集、聴覚障害者福祉に関する施設協議会会員施設名簿等を各協会に配布しました。

（2）県内意思疎通支援事業実施の自治体に対する調査（手話対策部）

障害者総合支援法における県内４１市町の実施状況をまとめて、その内容を各協会に配布しました。

（3）手話協力員実態調査（労働対策部）

令和元年度の調査研修の内容は、改正障害者雇用促進法がスタートして４年が経ち、各地のハローワークの障害者担当部門や障害者職業センター、障害者就業・生活支援センターといった障害者を対象とした就労支援機関には、聴覚障害者の就労問題に的確に対応できる専門家がほとんどいない中で奮闘している手話協力員に対しアンケートを実施しました。その内容を各協会に配布しました。

8．ろうあ相談員等研修事業(生活問題対策事業)

（1）生活問題対策部会議

第１回生活問題対策部会議

・日　　時：平成３１年4月２７日（土）午後１時半～３時半
・場　　所：神戸市立障害者福祉センター４階（会議室C）
・出 席 者：６名（身障者相談員５名、福祉対策部担当）
・報告内容：各地域の情報交換及びに相談に関する意見交換
人工知能・情報通信技術の進歩に伴い、現状兵庫県における補装具、日常生活用具の給付対象となっている者が今の社会において必要な物になっているのか？
視覚による補完よりも聴力の改善のみが目的となっている制度のままで良いのか？
兵庫県に対する要望も働き掛けていく等

２０１９年度の福祉対策部の活動行事について　他

第２回生活問題対策部会議

・日　　時：令和元年９月１４日（土）午後１時半～３時
・場　　所：兵庫県立聴覚障害者情報センター　交流サロン室
・出 席 者：４名（身障者相談員３名、ろうあ相談員１名、福祉対策部担当）
・報告内容：福祉対策部からの連絡、各地域の情報交換及びに相談に関する意見交換、その他

第３回生活問題対策部会議

・日　　時：令和２年２月１日（土）午後１時半～３時
・場　　所：兵庫県立聴覚障害者情報センター　交流室
・出 席 者：３名（身障者相談員２名、福祉対策部担当）
・報告内容：２０２０年度　生活問題対策部会議開催について
近畿ろうあ連盟福祉労働対策部より近畿ろうあ者福祉・労働合同フォーラムについて
各地域の情報交換及びに相談に関する意見交換、その他
「聴覚障害者と防災」について（兵庫県立聴覚障害者情報センター企画）に参加

９．手話普及啓発事業

（１）若者対象手話講座の実施

県内の高等学校、大学に在籍する学生を対象に聴覚障害者への理解促進と手話の普及に向け、講座を開催しました。

【回数】124 回

【内容】講義（聴覚障害について、聞こえない人の暮らしについて 等）
手話講座

（２）出前手話講座の実施

県内の施設、団体、企業等で勤める職員等を対象に聴覚障害者への理解促進と手話の普及に向け、講座を開催しました。

【回数】35 回

【場所】企業、事業所、病院、団体 等

【内容】講義（聴覚障害について、聞こえない人の暮らしについて 等）
手話講座、接客方法の体験 等

（３）親子向け（聴覚障害児等）手話教室

聴覚障害児に手話等に触れながら、手話を通じたコミュニケーションを図る教室を開催する。

【開催回数】８回　【参加人数】29 名

（４）講師スキルアップ講座の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止

（５）手話通訳者レベルアップ講座の開催

手話通訳者をめざす人の通訳レベルアップを図るための講座を開催しました。

令和元年 10 月１日（水）～11 月 28 日（木）
５会場（神戸２カ所、加古川１、豊岡１、赤穂１）×各４回　計 20 回

受講者　４７名

10. たじま聴覚障害者センター

（１）就労継続支援Ｂ型事業

令和元年度は、従来の通り障害者総合支援法のうち就労継続支援Ｂ型事業を利用して但馬地域に在住する障害者のうち、主に聴覚障害者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、創作活動、生活に関する情報や学習会等の生きがい活動の場と請負作業、施設外就労等の就労の場を提供し、その利用を通して知識及び能力の向上及び就労への移行等の支援を実施しました。

ア．日時

月曜日～金曜日（祝祭日除く）　午前９時～午後５時

イ．場所

豊岡市城南町２３番６号　豊岡健康福祉センター２階

ウ．定員・利用実績

１９名・延べ３，４１０名

エ．作業内容

・請負作業：ポリちぎり作業、自動車部品ゴムバリちぎり作業、牛革製品両面テープ貼り作業、ランドセル手縫い工程作業

・自主作業：アルミ缶、段ボール、新聞紙回収・自主製品製作、販売

オ．その他

創作活動、学習会、手話カフェ（月１回）、医師による健康診断（年１回）、看護師による健康相談（月１回）、歯科衛生士による口腔衛生指導（月１回）、健康まちづくり指導員による体操教室（月２回）を実施しました。

（２）相談支援事業

令和元年度は、従来の通り豊岡市内在住の障害者、障害児の保護者の意思及び人格を尊重し、利用等の立場に立った適切な指定計画相談支援事業を実施しました。

ア．日時

月曜日～金曜日（祝祭日除く）　午前９時～午後５時

イ．場所

豊岡市城南町２３番６号　豊岡健康福祉センター２階

ウ．件数

・インテーク、アセスメント　63 件

・モニタリング　294 件

・基本相談　３件

（３）児童通所支援事業

児童福祉法のうち、児童発達支援事業、放課後等デイサービスを利用して豊岡市内に在住する障害児が日常生活おける基本的動作指導、集団生活への適応訓練 、生活向上のために必要な支援など実施しました。

ア．日時

月曜日～金曜日（祝祭日除く）　午前１０時～午後５時

イ．場所

豊岡市城南町２３番６号　豊岡健康福祉センター２階

ウ．定員・利用実績

・延べ 76 名（児童発達支援）、延べ 363 名（放課後等デイサービス）

（４）意思疎通支援事業

令和元年度は、従来の通り但馬地域における聴覚障害者の生活とその福祉の向上のため、手話通訳者等養成および要約筆記者派遣事業を受託して実施しました。

ア．豊岡市手話奉仕員養成事業

・日程：５月２５日～１０月２６日（基礎課程のみ・全２９回）
・場所：豊岡健康福祉センター
・受講者数：１１名

イ．養父市朝来市合同手話奉仕員養成事業

・日程：５月７日～１１月１２日（基礎課程のみ・全２５回）
・場所：八鹿公民館
・受講者数：１６名

ウ．香美町手話奉仕員養成事業

・日程：６月７日～１１月１５日（入門課程のみ・全２１回）
・場所：村岡区中央公民館
・受講者数：１４名

エ．新温泉町手話奉仕員養成事業

・日程：５月３０日～１１月２８日（基礎課程のみ・全２５回）
・場所：浜坂多目的集会施設
・受講者数：１０名

オ．豊岡市要約筆記者派遣事業

・派遣実績：11 件

カ．豊岡市登録手話通訳者現任研修

・日程：７月１９日、９月１３日、１０月４日、１０月１８日、１１月１５日（全５回）
・場所：豊岡健康福祉センター
・受講者数：延べ４２名

１１．はりまふくろうの家

令和元年度は、障害者総合支援法の就労継続支援Ｂ型事業を利用して、姫路市近郊に在住する聴覚障害者のうち、就職が困難な人たちに自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように通所による就労の機会を提供し、下請作業や生活に関する情報や学習会等の活動を通じて、その知識及び能力の向上のための訓練等を行いました。

姫路市が進める６５歳以上の障害者を介護保険サービスに移行させる問題(６５歳問題)により、姫路市内在住の 65 歳以上の利用者の支給量に制限があり、当事業所に通いたくても通えないという状況があります。姫路市としては、70 歳で就労継続支援Ｂ型事業の利用が打ち切り(利用終了)としており、令和２年５月に１名支給打ち切りが確定、その後令和４年までの間で３名が７０歳となるため、就労継続支援

Ｂ型事業の利用打ち切りが見込まれています。きょうされん(成人期の障害のある人たちが、地域で 働く・活動する・ 生活することを応援する事業所の全国組織)兵庫支部の中部ブロック会議に出席し情報交換や、きょうされん兵庫支部より、県と姫路市へ要望書を提出しています。また、きょうされん兵庫支部を通じて姫路障害者連絡協議会の役員会で 65 歳問題の現状報告、姫路市との要望書に関する懇談会に出席しました。

（１）日時

月曜日～金曜日　午前８時３０分～午後４時 30 分

（２）場所

姫路市東延末 2-５１　中川ビル１Ｆ　事業所内・外

（３）定員・利用実績

１８名・延べ 1,566 名

（４）作業内容

ア．請負作業：箸入れ、昆布の袋詰め、素麺の箱折り等

イ．自主作業：おにぎり・お弁当、お菓子、畑作業

月曜日と金曜日はＡ型事業所の利用者さん向けにお弁当の定期配達、木曜日は市役所ロビー（2～３回/月)、すこやかセンター（1 回/月）で姫路作業所連絡会の加盟事業所としてハートフルショップで販売しており、ほぼ完売しています。「はばたけ中播磨の授産品」コンクールでラスクが受賞し、主催の西はりま地場産業センターを通して行政機関から注文も頂きました。中播磨県民センター、視覚障害者協会、姫路聴覚特別支援学校等からお弁当のご注文頂きました。しかし、年度末はコロナウイルス感染拡大の為、ほぼ販売は中止され、店頭販売での注文も減少傾向になりました。

（５）その他

令和２年１月に知的障害者１名契約(週２日程度利用)。(令和２年４月に１名知的障害者契約)

（６）年間行事

節分、お花見、七夕、バーベキュー、文化祭、法人内作業所交流会、日帰りバス旅行（淡路）
クリスマス会、「障害者虐待」の市政出前講座、避難訓練

１２．にしのみや聴覚障害者センター

障害者総合支援法に基づく地域活動支援センターとして、２０１４年４月に開所。令和元年度は、西宮市在住の聴覚障害者が自立した日常生活又は社会生活を営むため、日常生活に関する学習や悩み事相談、その他の機会を提供しました。また、当事業所に通う仲間たちが共通するコミュニケーションを通して、共に学び会い、支え合う場として活動しました。また地域とのかかわりを作るため、トライやる・ウィーク（西宮市立浜脇中学校）の受入や、浜脇地区社会福祉協議会の行事にも参加しました。

（１）日時

月曜日～金曜日　１０時 ～ １６時

（２）場所

西宮市馬場町５－７　メゾン・カトー２０１号室　事務所内

（３）定員・利用実績

１０名・延べ 1,339 名

（４）作業内容

請負作業：ハートボールプロジェクト、封入作業　他

（５）その他

ア．野外活動

・大阪くらしの今昔館の見学

・災害対策学習（西宮市総合防災訓練）

イ．学習会

西宮市保健所へ講師派遣を依頼し、口腔内の健康に関する学習

ウ．手話サロン

市内のろうあ協会・手話サークル会員へ声を掛け、手話サロンを開催。

８月：酢豚を参加者と共に調理。

１月：囲碁ボール（西宮市総合福祉センター障害者スポーツ事業係へ依頼）を体験。

社会福祉協議会にも呼びかけてもらい、地域との交流が持てた。

１３．尼崎聴覚障害者センター

（１）たつのころうあハウス （就労継続支援Ｂ型事業）

主にろう重複障害者や、就労・生活に困難を抱える聴覚障害者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、請負作業、自主製品、施設外就労等の就労の場を提供し、創作活動、生活に関する情報や学習会等の生きがい活動の場と利用を通して知識及び能力の向上及び就労への移行等の支援を行います。「できないことをできるようにする」をモットーに、ひとりひとりの障害やコミュニケーション方法にあわせた支援を行っています。令和元年度は、職員の人材不足、特に送迎を職員２名で行うので１名休みの場合は１名で広範囲回らなければならず送迎を行う職員の負担が大きかった。土日開所も減らし負担を軽くするようにしたがその分利用実績人数が減ることとなった。

ア．日時

月曜日～金曜日　午前９時～午後５時（仲間の作業は１０時～１５時半）

土・日・祝の開所日あり（不定期）

イ．場所

尼崎市立花町４－８－１２

ウ．定員・利用実績

２０名・延べ３４９５名

エ．作業内容

・請負作業：紙袋作業、ラベル貼り作業・チラシ作業・箱折・販売用セット・ネジ・新聞作業

・自主作業：自主製品製作（ポプリ・ルームスプレー）販売

・施設外：　情報センター掃除・ポスティング・草抜き

・体験実習：県立尼崎北高校、、神戸聴覚特別支援学校（先生・生徒）、
ダスキン障害者研修

オ．その他

・尼崎城見学　・尼ウェルフェア（販売・啓発）　・ひょうご安全の日参加

・日帰り旅行（豊岡・奈良）

（2）たつのこ工房（地域活動支援センター）

ア．日時

月曜日～金曜日　10 時 ～ 16 時

イ．場所

尼崎市立花町２－６－２３

ウ．定員・利用実績

１４名・延べ 1,673 名

エ．作業内容

請負作業：うどん製造・販売／ダッタンそば茶袋詰め入れ／乾燥糸こんにゃく袋詰め入れ

施設外作業：ポスティング・イベントでのうどん販売

オ．その他

- 地元の手話サークルへ行き、会員の皆さんと交流しました。
- 近くの商業施設で、買い物を楽しみました。
- 利用者の掛かり付け医での検査結果を見て、栄養面や生活面でのアドバイスをしました。
- 社会見学を通して、体験する楽しさを知り、商品に関する知識を深めました。
- 高齢化する利用者の将来に備え、介護に関する情報を提供しました。

公ー２兵庫県立聴覚障害者情報センター運営事業

身体障害者福祉法第３４条に定める聴覚障害者情報提供施設の機能を有し、聴覚障害者の社会参加と自立を援助し、生活・文化の向上と福祉の増進を図ることを目的に運営を行いました。

設置：兵庫県・神戸市

運営（指定管理者）：公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会

設置場所：神戸市灘区岸地通１－１－１神戸市立灘区民ホール２Ｆ

開館日及び時間　火、水、木、金、土　午前９時～午後６時

１．意思疎通支援事業

（１）手話通訳者養成研修事業

ア．手話通訳者養成事業

聴覚障害者の福祉に理解と熱意を持ち、兵庫県認定手話通訳者を目指す人を対象に養成講座を実施しました。

・通訳Ⅰ

日時：５月２８日（火）～２月２５日（火）全３６回

開催地：たつの市

受講者：２１名（うち修了者１７名）

・通訳Ⅱ

日時：５月３０日（木）～１月３０日（木）全３４回

開催地：三田市

受講者：９名（うち修了者９名）

・通訳Ⅲ

日時：１０月２１日（月）～３月１７日（火）全１１回

開催地：淡路市

受講者：５名

※新型コロナウィルス感染症対策のため、３月１０日、１７日は休講

イ．全国手話通訳者統一試験事業

・開催日：令和元（2019）年１２月７日（土）

合格発表：令和２（2020）年３月１０日（火）

会場：神戸市勤労会館

受験者：１２７名

合格者：２４名

・手話通訳者全国統一試験対策講座（直前）

開催日：１０月２４日（木）10:00～16:00　２２名

１１月　９日（土）10:00～16:00　２６名

会場：兵庫県立聴覚障害者情報センター

内容：手話の要約　場面の通訳、筆記問題（過去問）

受講者：４８名

（２）要約筆記者養成研修事業

ア．要約筆記者養成事業

・要約筆記者養成講座 手書きコース・パソコンコース（後期）

日　時：4月14日（日）～11月10日（日）　各コース全15回（45時間）

会　場：川西市

受講者：18名（うち修了者17名：手書き4名　パソコン8名　両方5名）

・要約筆記者養成講座 パソコンコース（前期）

日　時：10月19日（日）～3月21日（日）全16回（48時間）

※新型コロナウイルス感染症対策のため、3月7．14．21日は休講

会　場：たつの市

受講者：8名

・要約筆記フォローアップ講座（手書きコース・パソコンコース）

日　時：合同1月18日（土）、手書き2月1日（土）、パソコン2月8日（土）

会　場：兵庫県立聴覚障害者情報センター・のじぎく会館

受講者：63名

・要約筆記者指導者養成研修（聴力障害者情報文化センター主催分）

日　程：難聴者コース　7月13～15日　9月6～8日　3日間×2クール

会　場：全国障害者総合福祉センター（戸山サンライズ）

受講者：難聴者コース1名

イ．全国統一試験要約筆記者認定試験

日　時：令和2年2月16日（日）

会　場：神戸市立灘区民ホール・兵庫県立聴覚障害者情報センター

受験者：74名（手書きのみ 23名、PCのみ 32名、両方 19名）

（3）手話通訳者派遣事業

ア．登録状況

登録状況(手話通訳)　令和2年3月31日現在

372名（認定登録66名、B登録99名、C登録207名）

イ．研修会

初任者研修

・日　時：5月25日（土）10:00～12:00

会　場：兵庫県立聴覚障害者情報センター

内　容：平成31年度手話通訳者全国統一試験の合格者24名を対象。

情報センターの概要、ひょうご通訳センターの運営

派遣事業の概要、報告書の書き方等

受講者：23名

手話通訳者研修会

・日　時：5月17（金）13:30～16:00

会　場：兵庫県立聴覚障害者情報センター

内　容：「派遣事業について」

受講者：１５名

・日　時：7月２７日（土）１０:３０～１６:００
会　場：兵庫県立聴覚障害者情報センター
内　容：「派遣の種類、依頼の流れ、守秘義務宣誓書」
受講者：１５名
・日　時：9月7日（土）１０：00～16:00
会　場：兵庫県立聴覚障害者情報センター
内　容：手話通訳・要約筆記合同研修会
午前「聞こえの仕組み」午後「派遣事業について」
受講者：28 名
・日　時：9月１２日（木）１0:00～16:00
会　場：兵庫県立聴覚障害者情報センター
内　容：「聞き取り通訳」
受講者：12 名
・日　時：１１月３０日（土）１3:30～１5:30
会　場：兵庫県立聴覚障害者情報センター
内　容：「正しいマイクの使い方と人に伝わる話し方と発声
それから…練習のこつ」について
受講者：27 名
・日　時：1月２５日（土）１４:００～１６:００
会　場：兵庫県立聴覚障害者情報センター
内　容：「健康学習会」
受講者：20 名

・日　時：2月8日（土）１0:００～１６:００
会　場：兵庫県立聴覚障害者情報センター
内　容：「医療通訳」
受講者：午前 12 名、午後 19 名

ウ．兵庫県公費派遣事業
手話通訳者派遣事業（県公費）
年間：72 件
総派遣人数：175 名

エ．市町村公費派遣事業
年間：758 件
総派遣人数：1,004 名

オ．兵庫県主催イベントにおける聴覚障害者への情報配慮事業
年間：83 件
総派遣人数：213 名

（４）要約筆記者派遣事業

ア．登録状況

１４４名（令和２年３月３１日現在）

イ．現任研修会

・日　時：４月 13 日（土）
　会　場：兵庫県立聴覚障害者情報センター
　内　容：派遣事業について、機材設営実習
　受講者：２８名
・日　時：５月 22 日（水）
　会　場：兵庫県立聴覚障害者情報センター
　内　容：模擬現場実習１「難聴者講師による難聴者向け手話教室」での要約筆記
　受講者：46 名
・日　時：６月 29 日（土）
　会　場：兵庫県立聴覚障害者情報センター
　内　容：模擬現場実習２「パソコン教室」での要約筆記
　受講者：30 名
・日　時：７月 17 日（水）
　会　場：兵庫県立聴覚障害者情報センター
　内　容：兵庫の難聴事業をもっと知ろう！Part２
　受講者：20 名
・日　時：12 月 19 日（木）
　会　場：兵庫県立聴覚障害者情報センター
　内　容：「伝えたつもり」になっていませんか？
　　～意図が正しく伝わる要約筆記文にしよう～
　受講者：23 名
・日　時：３月 12 日（木）　※新型コロナウイルス感染症対策のため中止
　会　場：兵庫県立聴覚障害者情報センター
　内　容：「事例検討」
・日　時：９月７日（土）
　会　場：兵庫県立聴覚障害者情報センター
　内　容：手話通訳者・要約筆記者合同研修会「ソーシャルワーク概論～人々の「生活＆社会参加」
　　を支える社会福祉援助の理解を目指して」
　受講者：12 名

ウ．兵庫県公費派遣

年間：112 件
総派遣人数：376 名

エ．市町村公費広域派遣

年間：241 件
総派遣人数：483 名

オ．兵庫県主催イベントにおける聴覚障害者への情報配慮事業にかかる派遣調整
年間：56 件
総派遣人数：171 名

（5）けいわん健診

県下でコミュニケーション支援事業に関わる設置手話通訳者、派遣事業の登録手話通訳者、要約筆記者、盲ろう通訳・介助員および聴覚障害者福祉施設で働く職員を対象にけいわん検診を実施しました。

ア．けいわん検診実施状況

・神戸会場　兵庫県立聴覚障害者情報センター
6 月 25 日（火）　9:30～16:00　　受診者 31 名
7 月　2 日（火）　9:30～16:00　　受診者 37 名

・川西会場　川西キセラホール
6 月 21 日（金）　9:30～12:00　受診者 19 名

・高砂会場　高砂市ユーアイ福祉交流センター
7 月 4 日（木）　11:00～16:00　受診者 34 名

・判定結果
A：健常期 45 名　　B１：疲労期 59 名　　B２：初期 17 名　　合計 121 名

（6）各担当者会議、研修会

ア．コーディネーター研修会（手話通訳、要約筆記合同）

県下各市町のコミュニケーション支援事業担当者及び手話通訳・要約筆記派遣コーディネーターを対象に案内し、手話通訳・要約筆記派遣コーディネーターの資質の向上を目的に開催しました。

日　時：11 月 13 日（水）13:30～16:00
場　所：兵庫県立聴覚障害者情報センター
内　容：「音環境と補聴システム」聞こえを補う補聴機器、コミアプリの体験など
受講者：28 名（1 県・13 市町・8 事業所）

イ．意思疎通支援業務担当者会議（手話通訳、要約筆記合同）

県下各市町のコミュニケーション支援事業担当者と設置手話通訳者を対象に案内し、各市町への情報提供や提案および情報交換をすることにより各市町における同事業の充実と均一化を図ることを目的に次のとおり開催しました。

日　時：9 月 18 日（水）13:30～16:30
場　所：兵庫県立聴覚障害者情報センター
内　容：2019 年度派遣事業実態調査報告（手話通訳・要約筆記）
「意思疎通支援事業実態調査報告」「広域派遣について」「情報交換」
受講者：52 名（1 県・35 市町・7 事業所）

ウ．要約筆記コーディネーター情報交換会

日　時：３月 17 日（火）　※新型コロナウイルス感染対策のため中止

２．相談支援事業

（１）ろうあ者・難聴者相談・移動相談

ア．年間相談件数：110 件（移動相談も含む）

イ．相談内容

・情報格差が招くトラブル、離婚問題、介護問題、独居高齢者の問題など
・言葉の解釈の幅の狭さが招く誤解が起因の人間関係トラブル（SNS）
・制度内容の説明

ウ．移動相談実施時に支援者対象企画の開催

・移動相談、「聴覚障害」の理解セミナー（南あわじ）
日　程：11月　1日（金）13:30～16:00
会　場：南あわじ市役所　会議室 304.305
受講者：4 名
・移動相談、「聴覚障害」の理解セミナー（伊丹市）
日　程：12月　6日（金）13:30～16:00
会　場：伊丹市アイ愛センターカルチャールーム1
受講者：2 名
・移動相談、「聴覚障害」の理解セミナー（加西市）
日　程：1月 24 日（金）13:30～16:00
会　場：加西市健康福祉会館　ふれあいの間２
受講者：5 名

（２）聞こえの相談

ア．年間相談件数：188 件

イ．相談内容

・きこえ、補聴器相談（聴力検査、疾患、補聴器適応・申請、FM 補聴器、人工内耳について など）
・福祉機器の相談（高齢に伴う聴覚補償、会社内における聴覚補償　など）
・コミュニケーション（職場内、親子間　など）
・生活相談（軽中度難聴者の求職、福祉制度、日中活動　など）
・子どもの難聴について（難聴発覚後の療育、発音指導、学習支援、進路、補聴器、情報補償など）
・関係機関からの相談（難聴児者のケース相談、難聴者対象の事業実施について）
・弱視難聴者からの生活相談、補聴器の相談など

（３）こころの相談

ア．年間相談件数：121 件

イ．相談内容

・発達障害（疑いも含める）、自分の親、子どもとの関係（コミュニケーションなど）
・悩みや不安の解消
・職場における人間関係（周囲の理解やコミュニケーションなど）

・たじま聴覚障害者センターでの、放課後等デイサービスにおけるスーパーバイザー（助言者）
利用されている子どものアセスメントや職員への助言
・就労支援事業所職員（姫路）から利用者に関する相談

３．中途失聴者難聴者コミュニケーション訓練事業

（１）地域会場

・日　時：5月 11 日、18 日、6 月 1 日（土）全3回　13:30～15:30
内　容：読話
講　師：岡恵子氏
会　場：兵庫県立聴覚障害者情報センター
受講者：17 名

・日　時：6 月 22 日、7月 13 日、27 日（土）13:30～15:30
内　容：手話
講　師：庄司美絵氏
会　場：西宮市中央公民館
受講者：7 名

・日　時：10 月 27 日（日）13:30～15:30
内　容：読話
講　師：岡恵子氏
会　場：赤穂市民会館　2階中会議室
受講者：10 名

・日　時：12 月 8 日（日）10:00～12:00
内　容：読話
講　師：岡恵子氏
会　場：南あわじ市中央公民館
受講者：7 名

・日　時：2 月 16 日（日）10:00～12:00
内　容：読話
講　師：上田月美氏
会　場：洲本市やまて会館（総合福祉会館）
受講者：7 名

・日　時：1 月 19 日（日）全1回　13:30～15:30
内　容：読話
講　師：岡恵子氏
会　場：加古川市総合福祉会館　201.202.203
受講者：12 名

・日　時：2月 15 日、3 月 21 日（土）全2回 13:30～15:30（3/21 中止）
内　容：手話
講　師：唐須　香氏
会　場：姫路市総合福祉会館

受講者：21 名

（2）難聴者のための手話教室

会場：兵庫県立聴覚障害者情報センター

・手話入門

日　時：6月８日、15 日、22 日（土）全3回 13:30～15:30

講　師：北村明子氏、石井加代子氏

受講者：17 名

・初級木曜コース

日　時：7月４日、11 日、18 日、25 日、8月１日　13:30～15:30

会　場：情報センター　サロン

講　師：庄司美絵氏

受講者：５名

・初級土曜コース

日　時：6月 29 日、7月６日、13 日、20 日、27 日　13:30～15:30

会　場：情報センター　サロン

講　師：加藤めぐみ氏

受講者：18 名

・中級木曜コース

日　時：10 月 31 日、11 月７日、14 日、21 日、28 日　13:30～15:30

会　場：情報センター　サロン

講　師：鎌田種子氏

受講者：13 名

・中級土曜コース

日　時：10 月 26 日、11 月２日、９日、16 日、30 日　13:30～15:30

会　場：情報センター　サロン

講　師：庄司正氏

受講者：15 名

・上級コース

日　時：1 月 18 日、25 日、2 月１日、８日、15 日（土曜日）　13:30～15:30

会　場：情報センター　サロン

講　師：仲光恵氏

受講者　17 名

４．ろうあ者社会生活教室

・日　時：9月8日（土）１5:００～１６:４５

会　場：神戸市勤労会館

内　容：手話フォーラム「手話はいのち～最近の新しい手話について～」

講　師：日本手話研究所　所長　高田　英一氏

参加者：６１名

・日　時：9月16日（月・祝）１３:３０～１５:００
　会　場：神戸市立兵庫勤労市民センター
　内　容：こうれいしゃ講演会「私の喜怒哀楽」
　講　師：小野　多恵子氏　（神戸市北区）
　参加者：６０名
・日　時：９月22(日)　10:00～12:00
　会　場：神戸市たちばな職員研修センター
　内　容：「愛子の部屋」
　講　師：山原愛子氏(元神戸聴覚特別支援学校教諭)、
　　補佐に浅野京子氏(兵聴協認定通訳者・通訳士)
　参加者：83 名
・日　時：2月8日(土)　１３：３０～１６：３０
　会　場：明石市立勤労福祉会館
　内　容：「目で聞くコミュニケーション」
　講　師：落合　孝幸氏（デフラクビー日本代表監督）
　参加者：４０名
・日　時：2月8日（土）１４:００～１６:３０
　会　場：明石市立勤労福祉会館
　内　容：第２３回ろう教育学習会「手話でお話しよう「ひよこ」について」
　講　師：下司 実奈氏（神戸女子大学准教授）
　参加者：１０１名
　　※新型コロナウイルス感染症対策のため、「ひょうご福祉労働２０１９」は中止。

５．難聴者教室事業

（１）たじま地域難聴者教室「聞こえを学ぶ集い」

日　時：①6 月 22 日（土）、②10 月 12 日（土）13:30～15:30
会　場：アイティ豊岡市民プラザ　市民活動室Ｄ
内　容：要約筆記の利用の仕方、
　　ホワイトボードを使って座談会☆テーマ：「合理的配慮パート２」
参加者：①申込３名、当日参加３名（参加者計６名）
　　②台風のため　中止

（２）手話歌を楽しもう

日　時：年間５回水曜　13:30～15:30
会　場：情報センター　サロン
内　容：講師は難聴者。さまざまな情報提供や取り組みも前半に加えて実施。
　　要約筆記配置。
参加者：延べ 45 名

（3）読話サークル「ひまわり」

日　時：年間5回水曜 13:30～15:30　（3/11 中止）
会　場：兵庫県立聴覚障害者情報センター　サロン室
内　容：講師は言語聴覚士。読話手話入門講座修了者有志が中心の集まり。要約筆記配置。
参加者：延べ 46 名

（4）手芸サークル（毎月第 4 水曜 13:30～15:30）

会　場：兵庫県立聴覚障害者情報センター
講　師：中途失聴の為に講師業を辞めていた方。再び指導できる場を提供。要約筆記配置。
製作品：パッチワーク、手芸小物品など
参加者：6 名

6．聴覚障害者及び聴覚障害に関する理解促進事業

（1）中途失聴難聴事業推進委員会の実施

難聴・要約筆記の 4 団体（㈱兵庫県難聴者福祉協会・神戸市難聴者協会・兵庫県要約筆記サークル連絡協議会・要約筆記サークルこうべ）と、情報センターとで兵庫県内全域の難聴者福祉を考えることが目的です。今年度は、要約筆記検討会と合同で開催。
日程：8/22、11/28、3/27（中止）
内容：情報交換、課題共有

ア、家庭部会

日　程：6/12、14、26、7/18、10/10、12/13
企　画：10 月 19 日（土）13:30～15:30
　　（神戸聴覚特別支援学校と共催）
会　場：神戸市聴覚特別支援学校　大会議室・小会議室
内　容：聞こえない子どもの学びを考えよう
　　～話し言葉を文字で見てみよう　ノートテイク体験会～
参加者：神戸聴覚通級学級在籍児童、一般広報からの申込難聴児童（小・中学生）
　　子ども　１１名（一般：４名）　保護者　７～８名位（一般：３名）
スタッフ：部会（NT 以外）２名、NT　６名、PC ヨ/NT３名、市民の会１名、三田サマリー
　　１名

イ、社会生活部会

日　程：　6/6、8/9、11/15、2/20
内　容：バリアフリー表記について、災害時の聴覚障害者への情報システムについて、
　　ヒアリングループ設置状況についてなど、話し合いを行った。

ウ、労働部会

日　程：4/13、5/18、7/26、8/9、31、10/19、
　　11/9、12/14、28、1/18、2/29、3/7（中止）

部会では、web アンケート、労働懇談会の準備等を行う。
（特）兵庫県難聴者福祉協会から助成金申請をし、アンケート、労働懇談会を実施。

（3）聴覚障害者文化祭

日　時：9月28日（土）10:00～15:00
会　場：兵庫県立聴覚障害者情報センター、マリーホール
内　容：作品展示、バザー、ステージ発表、機器展など
参加者：延べ 700 名

（4）聞こえの相談と交流会

ア．赤穂市会場

日　時：9月1日（日）13:00～16:00
会　場：赤穂市民会館
内　容：補聴器等についての相談（グループでの質疑応答形式で進行）
講　師：中川良雄氏（全難聴 補聴器医療対策部長）・高永義弘氏
（トーシン神戸補聴器センター）
参加者：19 名

イ．加古川市会場

日　時：12 月8日（日）13:00～16:00
会　場：加古川市総合福祉会館
内　容：補聴器等についての相談（グループでの質疑応答形式で進行）
講　師：中川良雄氏（全難聴 補聴器医療対策部長）・高永義弘氏（トーシン神戸補聴器センター）
参加者：35 名

（5）ふれあいサロン

聴覚障害者と健聴者が自由に交流できる場として情報センター「情報サロン」室で実施しました。

第１回　６月５日（水）13:00～16:00　32 名
第２回　10 月２日（水）13:00～16:00　22 名
第３回　12 月４日（水）13:00～16:00　24 名
第４回　２月５日（水）13:00～16:00　16 名

（6）聴覚障害児とママ&パパ交流会

地域の学校に通う聴覚障害児の同障児交流の場が必要だと感じ、ろう協青年部、難聴青年部、ろう教育を語り合う会、兵通研下部組織 N-Action、言語聴覚士養成校の学生と共に交流会を実施しました。

日　時：８月３日（土）10:00～15:00
会　場：兵庫県立聴覚障害者情報センター
内　容：（午前）会議室：原弘幸氏（（特）兵庫県難聴者福祉協会）による講演
サロン：絵本の手話語り、お絵かき + 別室での保育
（午後）会議室：工作（難協主導）
塗り絵、紙コップ・紙皿工作（手芸サークルスタッフ主導）
体験ゲームコーナー、クイズコーナー（学生主導）

参加者：61 名（欠席４名）　スタッフ：43 名（学生含まず）　　計 104 名
（内訳）子ども 27 名（内訳：聴障児 18 名)、ママ 17 名、パパ 10 名、その他３名）

７．聴覚障害者災害対応訓練事業

防災に関する学習会の実施

日　時：令和元年１１月2日（土）13:30～17:00
会　場：兵庫県聴覚障害者情報センター
内　容：『東日本大震災　その時、その後・・・』
講　師：講演１：松本　隆一氏（みやぎ・せんだい中途失聴難聴者協会相談役）
宮城県聴覚障害者情報センター施設長
講演２：小林　靖　氏（福島県聴覚障害者協会　事務局長）
参加者：５１名（内　聞こえる人２６名）
協　力：（公社）兵庫県聴覚障害者協会　災害対策委員会

日　時：２年2月１日（土）１４:00～16:00
会　場：兵庫県聴覚障害者情報センター
内　容：「大災害を乗り越えるための心得と行動」　～過去の自然災害から学ぶ～
講　師：兵庫県広域防災センター　防災教育専門員　田中健一氏
参加者：２８名（内　聞こえる人１０名）
協　力：（公社）兵庫県聴覚障害者協会　災害対策委員会

８．聴覚障害者緊急時情報通信事業

「ひょうご防災ネット」を活用して登録者の携帯電話やパソコンに「緊急情報」「おしらせメール」「緊急気象情報」を発信するもので県内市町でも活用されている。当センターにおいても「緊急メール」や「お知らせメール」を用いた必要な情報を発信しました。
（登録件数　　お知らせ情報：１０，９８５件　緊急情報：１４，４８２件）

９．情報機器の利用・貸出し事業

聴覚障害者への情報保障に必要な、ヒアリングループ（磁気誘導ループ)、ＯＨＣ、モバイルスクリーン、ビデオプロジェクター等の聴覚障害者用情報機器の貸出を行った。
聴覚障害者情報取得事業により、電子黒板機能付きプロジェクターが新しく追加された。

１０．字幕入りビデオライブラリー運営事業

字幕入り映像作品及び自主制作ビデオの貸し出しを行った。
ビデオテープ映像作品所管量の減数作業を行った。所管数の再確認と新規作品の追加作業を実施しました。（年間貸出し本数：41 本）

１１．ＩＴ機器活用研修事業

（１）パソコン相談の実施
聴覚障害者向けにパソコン相談を開催しました。

ア．　パソコン相談（平日）

日　時 ：随時
場　所 ：情報センター情報機器利用室
受付者 ：職員
件　数 ：15 件

イ.　パソコン相談（土曜）
日　時 ：毎月１回、第３土曜日を基本に調整（14:00～17:00 予約制）緊急対応あり
4/20（土）、5/25(土)、8/17（土）、9/28（土）、10/25（金）、1/24（金）、2/1（土）
場　所 ：情報センター情報機器利用室
受付者 ：PC 相談員
件　数 ：16 件

ウ.　但馬地域パソコン相談
日　時 ：隔月１回　第２土曜日、第４土曜日のいずれか（13:00～17:00 予約制）
７月 27 日、９月 21 日、11 月９日、１月 18 日、２月 15 日
場　所 ：たじま聴覚障害者センター
受付者 ：聴覚障害者相談員
件　数 ：８件

エ.　イベント型パソコン・スマートフォン相談会（聴覚障害者文化祭同時開催）
協力企業：ソフトバンク社、ＫＤＤＩａｕＯＳＡＫＡ社、ドコモショップ王子公園店
日　時 ：９月 28 日（土）10:00～15:30
場　所 ：灘区民ホール１階　会議室
受付者 ：携帯会社スタッフ及び聴覚障害者相談員を設置（スマートフォン相談同時受付）
件　数 ：120 件

（２）ＩＴ学校及びパソコン講習会
聴覚障害者向けにＩＴ学校及び PC 講習会を実施しました。
日　時 ：５月２５日（土）13:30～15:30
会　場 ：情報センター　会議室
内　容 ：ＩＴ学校　第 31 講「ＩＴ用語勉強会第二弾」
受講者 ：20 名

日　時 ：５月８日～６月 19 日（水）　全７回　13:30～15:30
会　場 ：情報センター　情報機器利用室
内　容 ：「らくらくパソコン教室」～はじめてのパソコン～
受講者 ：４名

日　時 ：７月 19 日～９月 13 日（金）　全８回　13:30～15:30
会　場 ：情報センター　情報機器利用室
内　容 ：PC 講座「なるほどパソコン教室」
受講者 ：５名

日　時 ：8月17日（土）　13:30～15:30
会　場 ：情報センター　会議室
内　容 ：ＩＴ学校　第 32 講「ＩＴ用語勉強会第三弾」
受講者 ：25 名

日　時 ：9月27日（金）　14:00～16:30
会　場 ：洲本市健康福祉館
内　容 ：ＩＴ学校　第 33 講「スマホ・インターネットＱ＆Ａ」
受講者 ：23 名

日　時 ：10 月5日（土）13:00～16:00
会　場 ：情報センター　情報サロン室
内　容 ：ＩＴ学校　第 34 講「スイーツをおしゃれにきれいに撮影しよう」
受講者 ：11 名

日　時 ：11 月9日（土）　10:00～12:00
会　場 ：情報センター　会議室
内　容 ：ＩＴ学校　第 35 講「Pay って何？」
受講者 ：17 名

日　時 ：10 月 25 日～12 月 20 日（金）　全９回　13:30～15:30
会　場 ：情報センター　情報機器利用室
内　容 ：ＰＣ講座「らくらくパソコン教室(後期)」　なるほどパソコン教室
受講者 ：５名

日　時 ：12 月７日（土）　10:30～12:00
会　場 ：情報センター　会議室兼研修室
内　容 ：ＩＴ学校　第 36 講　県警合同企画「インターネット・スマホを安心して使うための講座」
　　～だまされないために！自分を守ろう～
受講者 ：13 名

日　時 ：12 月 14 日～2 月 15 日（土）　全８回　13:30～15:30
会　場 ：情報センター　情報機器利用室
内　容 ：ＰＣ講座(後期パソコン　土曜日)「Excel（エクセル 2016）入門講座」
受講者 ：５名

日　時 ：1月11日（土）　10:30～12:00　13:00～15:00
会　場 ：情報センター　会議室兼研修室
内　容 ：ＩＴ学校　第37 講　「音情報を見える情報へ」
受講者 ：27 名

日　時 ：1月24日～2月28日（金）　全６回
会　場 ：情報センター　情報機器利用室
内　容 ：ＰＣ講座(スキルアップ後期パソコン金曜)「Excel 中級＆ＶＢＡ入門」
受講者 ：１名

日　時 ：3月14日（土）　10:30～12:30
会　場 ：情報センター　会議室兼研修室
内　容 ：ＩＴ学校　第38講　県警合同企画　電話リレーサービスって何？
　　（コロナウイルスの影響により中止）
受講者 ：中止

１２．聴覚障害者向けビデオ自主制作事業

（１）聴覚障害者向けビデオの自主制作

聴覚障害者向けに手話や字幕を挿入したビデオを自主制作し、ビデオライブラリーでの貸出しや関係機関、団体への配布等を行いました。

- 「地方の時代」シンポジウム
  映像祭フォーラム in メイシアター「障害の壁を乗り越えてともに生きる」
- 第36回兵庫県ろうあ者大会 第1・２・３部
  オープニング　式典　引き継ぎ式
- 第36回兵庫県ろうあ者大会　記念講演
  特別講演「ノルウェーの福祉」　マリア・ノビコバ氏
- 聴覚障害児とママ&パパ交流会
  「私のライフストーリー」　原 弘幸 氏
- あの人にインタビュー３
  「ろう女性運動　～大塚 登代子さん～」
- 兵庫県委託事業2019年度社会生活教室「女性セミナー」
  「愛子の部屋～戦中・戦後そして手話と出会う～　山野愛子氏
- 聴覚障害者と防災
  「東日本大震災」　～その時、その後…福島県～　小林靖氏
- 聴覚障害者と防災
  「東日本大震災」　～その時、その後…宮城県～　松本隆一氏
- 「壁を超えるトライ」
  川上能壽　デフラグビー
- 第46回　兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどい
  オープニング　式典
- 第46回　兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどい
  「日本の聴覚障害者として英語を習得すること」記念講演　小林育未氏

（２）関係団体及び行政機関との合同制作及び制作協力

- 兵庫県聴覚障害者協会賛助会員特典 DVD
- 兵庫県手話通訳統一試験対策講座　DVD

・兵庫県聴覚障害者協会認定手話通訳者試験　読み取り試験問題

（３）ＣＳ障害者放送「目で聴くテレビ」等への番組提供・協力

兵庫からの情報番組として、ＣＳ放送「目で聴くテレビ」へ映像提供、取材協力を行いました。

提供１　壁を超えるトライ　デフラグビー　川上能壽

提供２　ふくろうの杜・インクルーシブ・アーツ・フェスタ
～舞台でわくわく大変身　どっきり！手話パフォーマンス～

提供３　第 66 回全国ろうあ者大会 IN 宮城
分科会　舞台撮影・参加者インタビュー

（４）聴覚障害者向けビデオ映像のインターネット動画配信

従来のビデオライブラリー貸し出しに加え、映像用のホームページ及びブログを活用し、
インターネット上で動画配信を行いました。（全 17 本　神戸市動画事業映像７本含む）

提供１　センター行事のお知らせ　手話版「IT 講座のご案内　PAY サービス」
提供２　センター行事のお知らせ　手話版「IT 講座のご案内　スマホ写真」
提供３　センター行事のお知らせ　手話版「ひょうご防災ネット登録を！台風情報」
提供４　センター行事のお知らせ　手話版「災害学習会のお知らせ」
提供５　センター行事のお知らせ　手話版　「IT 講座のご案内　県警合同企画」
提供６　新年のあいさつ　管理者からのメッセージ
提供７　阪神・淡路大震災から 25 年を迎えて（追悼集会　子供たちの手話歌）
提供８　新型コロナウィルス感染症　配信①「聴覚障害者用 FAX について」
提供９　新型コロナウィルス染症　配信②「兵庫県新型コロナ対策パーソナルサポートについて」
提供１０　新型コロナウィルス感染症　配信③「クラスター発生の３つの条件について」

（５）放送番組等への字幕付加

関係団体や聴覚障害者へ対し字幕付加希望番組の意見募集箱を常設しています。
その結果、付加希望リストにのぼった放送番組やこれまで当センターが取材協力した番組を中心に、
字幕を付加しました。字幕は、当センター字幕スタッフ養成講座修了生が中心に制作しています。
館内観賞可能です。
（全 135 本）

・兵庫県広報番組「教えて！ひょうご」約 11 分×36 本
（2019.4.7 放送～2020.12.22 放送）
・兵庫県広報番組「ひょうごトピッ！」約５分×27　１分半×9 本 計 36 本
（2019.4.7 放送～2020.12.22 放送）
・兵庫県広報番組「ひょうごトピッ！」約５分×27　１分半×9 本 計 36 本
（2019.4.7 放送～2020.12.22 放送）
・兵庫県広報番組「ＩＤＯカフェ　約 15 分×９本
（2019.4.21 放送～2020.12.22 放送）
・兵庫県広報番組「今週のはばタン はばタン 約 20 秒×27 本
（2019.4.7 放送～2020.12.22 放送）

（６）DVD 活用学習会の開催

DVD「広げよう楽しい会話」シリーズを使用し、DVD 手話学習会を開催しました。
（神戸会場と尼崎会場を予定していましたが、コロナウィルスの影響により尼崎は中止）
日　時：２月 19 日（水）
場　所：情報センター会議室

参加者：22 名

（7） 関係団体（近畿共同会議）等からの要請対応

ア　日　時：１１月 16 日（土）
　　場　所：関西大学千里山キャンパス
　　内　容：地方の時代　映像祭　シンポジウム「障害の壁を越えてともに生きる」

イ　日　時：6月 16 日（日）
　　場　所：宮城県仙台市・仙台国際センター
　　内　容：「全国ろうあ者大会　大阪」分科会　舞台撮影及び参加者インタビュー取材

ウ　日　時：2月９日（日）
　　場　所：同志社大学　寒梅館
　　内　容：さがの映像祭　映像作品の提出

エ　日　時：２月 21 日（金）～23 日（日）
　　場　所：さがの手話研修センター
　　内　容：番組制作者養成講座　出席　（スタッフ２名を派遣）

オ　日　時：１月 29 日（水）
　　場　所：情報センター会議室
　　内　容：近畿・東海ブロック映像研修

（主な会議・研修会への出席の箇所）

ア.　聴覚障害者向けソフト制作担当職員研修会
　　日　時：11 月 13 日（水）～15 日（金）
　　場　所：岩手県立聴覚障害者センター
　　参加者：参加施設　31 施設　35 名
　　内　容：電話リレーサービスの動向等　講演２本
　　・映像実技研修（基礎コース、応用コース）

イ.　聴覚障害者の情報メディアに関する委員会
　　日　時：5月 28 日（火）～29 日（水）9月３日（火）～4 日（水）
　　11 月 12 日（火）
　　場　所：埼玉県聴覚障害者センター他
　　内　容：研修会の企画、・準備、助成金事業への協力作業等

ウ.　近畿共同会議
　　日　時：８月６日（火）、３月はコロナウィルスの影響により中止
　　場　所：アステム本社、和歌山県白浜
　　内　容：近畿ブロックの情報提供施設及びアステム社との意見交換等

１３．その他

（１） 神戸市手話動画制作事業（神戸市からの受託事業）

神戸市より手話動画制作依頼を受けて手話動画を制作し、神戸市ホームページ等で配信しました。

ア、内容および配信（予定）

１回・観光編　第１話「灘区」
（日常生活用具ついて）
２回・観光編　第２話「中央区」
（テレビの内容を知る方法）
３回・観光編　第３話「東灘区」
（子育てについて）
４回・観光編　第４話「兵庫区」
（手話の学習方法について）
５回・観光編　第５話「須磨区」
（災害時に困ること）
６回・観光編　第６話「垂水区」
（デフリンピックについて）

イ、制作物及び配信場所
制 作 物：手話動画（ＤＶＤ）
配信場所：神戸市 HP、兵庫県立聴覚障害者情報センターHP、
YouTube（兵庫県立聴覚障害者情報センターのサイト）、全日本ろうあ連盟 HP

ウ、平成 27 年度から引き続き、神戸市と兵庫県立聴覚障害者情報センター、神戸ろうあ協会等で協議を重ね今年度で５年を経過しました。今年度は「神戸市観光巡り」をテーマに、神戸市を各区に分けて、名所や観光地を会話を交えて手話で紹介しました。あわせて視聴者からの質問に答えるコーナーも加え、聴覚障害者の生活について多くの市民に知っていただける手話動画となりました。

（２）手話普及啓発事業（兵庫県からの受託事業）

県民に広く聴覚障害に対する理解を深め、手話に関心を持ってもらうための講座を開催しました。

期間：令和元年６月 30 日（日）～令和２年１月 18 日（土）

回数：全 15回（一般県民向け 15 回　）１回２時間

会場：県民向け　神戸市２、姫路市２、加古川市、宝塚市、芦屋市、宍粟市、香美町、
丹波篠山市、淡路市、太子町、加西市、多可町、播磨町

受講者：延べ 243 名

内容：内容：手話普及啓発講座「はじめての手話講座」
聴覚障害や手話についての講義、手話実技、グループ交流

＜開催日程・場所＞

	日　程	開催場所	講座区分	参加数
1	６月 30 日（日）	神戸市　勤労会館	県民	28
2	７月 21 日（日）	姫路市　姫路労働会館	県民	36
3	７月 21 日（日）	加古川市　加古川市総合福祉会館	県民	14
4	７月 28 日（日）	宝塚市　西公民館	県民	26
5	７月 28 日（日）	芦屋市　木口記念館	県民	16
6	８月　４日（日）	宍粟市　宍粟防災センター	県民	６
7	８月 24 日（土）	香美町　香住区中央公民館	県民	10
8	９月 14 日（土）	丹波篠山市　篠山市民センター	県民	４
9	９月 29 日（日）	淡路市　兵庫県立淡路文化会館	県民	９

１０	10月20日（日）	太子町	地域交流館	県民	22
１１	10月26日（土）	播磨町	播磨町健康いきいきセンター	県民	15
１２	11月24日（日）	多可町	中コミュニティプラザ	県民	13
１３	12月１日（日）	加西市	健康福祉会館	県民	９
１４	12月１日（日）	姫路市	総合福祉会館	県民	11
１５	１月18日（土）	神戸市	兵庫県民会館	県民	24

収－１出版物等普及事業

１．出版事業

２０１９年度は国際手話ハンドブック２が発行され、総売上額の約３０％となりました。
また例年通り、奉仕員テキストの売上は大きいですが、昨年度に比べて売上冊数９０５冊→６７５冊となり２３０冊マイナスとなっています。

売上額約７２０万円と予算達成まであと少しの結果となりましたが、引き続き兵聴協独自出物の普及に力を入れ、書籍の販売を伸ばしたいと思います。

２０１９年度書籍売上（冊数）ベスト２５（協会への預売・売掛も含む）

令和２年３月３１日時点

順位	品名	売上数量	売上額
1	国際手話ハンドブック第２巻	924	1,384,500
2	奉仕員テキスト	675	2,196,540
3	新しい手話 2020	380	376,200
4	国際手話ハンドブック第１巻	323	483,000
5	ＭＩＭＩ　１６４	187	143,990
6	ＭＩＭＩ　１６５	183	140,910
7	ＭＩＭＩ　１６６	178	148,220
8	ＭＩＭＩ　１６７	164	155,800
9	手話でGO！GO！合理的配慮	143	139,194
10	通訳Ⅰ 養成テキスト	113	343,336
11	わたしたちの手話学習辞典Ⅰ	97	271,336
12	新しい手話 2019	93	90,468
13	手話言語白書	82	221,500
14	ろう者たち～権利を求めて	82	88,760
15	通訳Ⅱ 養成テキスト	76	229,880
16	通訳者 講義テキスト（Ⅰ/Ⅱ共用）	74	135,932
17	Ｌｅｔ’Ｔｒｙ！国際手話	67	132,660
18	わたしたちの手話学習辞典Ⅱ	54	152,152
19	手話テキスト 聴さんと学ぼう！	45	43,974
20	奉仕員養成 指導書	36	97,300
21	使える！スポーツ手話ハンドブック	31	44070
22	通訳Ⅲ 養成テキスト	25	76384
23	手話・言語・コミュニケーションNo.7	25	50074
24	通訳Ⅰ 指導書	18	69090
25	2019 全国手話検定試験　第 13 回解説集	15	51968

２．事業部

聴覚障害者用福祉用具や関連商品の販売・普及、また聴覚障害者および関係者向けのイベント等を企画・

実施しました。

（１）自動販売機事業

ア．設置数：３台

・神戸ろうあハウス

・たじま聴覚障害者センター

・兵庫県立聴覚障害者情報センター（オリジナルデザイン）

（２）要約筆記用ＯＨＰロール・補聴器電池・筆談器販売事業

ロール紙　３４３本

補聴器電池　本部事務所１５個、情報センター２５個

筆談器 かきぽん@2,920 ３個

防災リュック、非常食など　手話でＧｏピンバッジ５個、リフレクターキーチェーン４個

（３）聴覚障害者および関係者向けのイベント企画を行うため、物品販売等を実施しました。

日時・回数：平成３１年４月～令和２年３月　全４回

（４）講演会・講座 等

ア．　ネパール講演会

日程：平成３１年４月１９日（金）18：30～20：30

会場：神戸市障害者福祉センター

テーマ：「ネパールについて」　講師：スニタ・タパ氏

イ，　ノルウェー講演会

日程：令和元年６月 24 日（月）18：45～20：45

会場：神戸市障害者福祉センター

テーマ：「ノルウェーのあれこれ」

ウ．コロンビア講演会

日程：令和元年１２月２６日（木）18：45～20：45

会場：神戸市勤労会館

テーマ：「コロンビアのあれこれ」　講師：ダニエル氏

エ．手話と言語として広めよう！上映会「段また段を成して」「サイレントチャイルド」

日時：令和元年９月１日（日）①10：00～12：00　②13：30～15：30

会場：神戸市障害者福祉センター　　参加人数：８４名

（５）情報福祉機器展

日時：令和元年９月２８日（土）10:00～15:00（聴覚障害者文化祭時に実施）

協力団体：４団体　　企業：１４社（内　出展企業１３社、書籍委託販売１社）

収ー２ひょうご聴覚障害者介護支援センター運営事業

１．ひょうご聴覚障害者介護支援センター

（１）統括

ア．ヘルパーの質の向上を目指した学習会の開催

・月１回のヘルパー会議時と年４回の登録ヘルパーの研修会において援助技術や実技実習などを実施し知識を深めます。

ヘルパー会議や研修で行ったテーマ

・熱中症、感染症、・高齢者虐待防止法について

・非常災害時の対応について　・個人情報保護法について　・認知症について　・法令遵守について

・ヒヤリハットについて　・接遇マナーについて

・実技（体験型）　オムツの適切な使用方法と選択について

・実技（体験型）　歩行補助具について　利用者に合った歩行補助具の選び方

・実技（体験型）　栄養補助食品の活用方法について

・実技（体験型）　ベッドから車椅子への移乗動作　座位からの起居動作の方法
据え置き型手すりの活用方法について

当センターのケアマネジャー（以下 CM）も参加し、共にスキルアップ向上とサービス提供責任者、担当ヘルパーとの情報共有に努めた。利用者（個人情報保護に基づき、個人情報が特定されないように配慮）に対する悩みや支援内容の相談・分析を行いました。

居宅介護支援事業所として必要な研修（高齢者虐待防止法等）を行い、地域のあんしんすこやかセンターが主催の研修や訪問介護の研修に出席しました。

イ．事業内容の検討

・兵庫県聴覚障害者協会のホームページ内のムービーを新しく作成。来年度にホームページ内のムービーを変更検討していきます。今後講義依頼などがあった場合、流していくことも検討します。

（２）事業内容

地域生活支援事業の移動支援のニーズが高く、現在、神戸市・三木市・明石市・尼崎市のみですが、今後も依頼があれば派遣範囲を広げていく必要があります。

ア．介護保険法

・居宅介護支援事業（CM によるケアプラン作成・認定調査）

・訪問介護事業・介護予防訪問サービス（ホームヘルパーの派遣）

イ．障害者総合支援法

・居宅介護事業

・同行援護事業（実施できない　資格を持ったヘルパーが居ない）

・行動援護事業（実施できない　資格を持ったヘルパーが居ない）

・移動支援（地域生活支援事業）　対象市…神戸市、三木市、尼崎市

（３）運営会議

１ヶ月に１回担当理事・サービス提供責任者・CM 及び職員との間で報告・連絡・相談をすることにより情報を共有していくとともに、課題について話し合いました。

（４）居宅介護支援事業とホームヘルパー派遣（令和２年３月末現在）

居宅介護支援事業所は２８名（介護予防含む）の居宅サービス計画書（ケアプラン）作成・相談（要介護認定申請・他サービス事業所の紹介等）や問い合わせに対応しながらそれぞれの在宅支援に貢献し

ました。

各利用者それぞれの地域の制度の活用やネットワークづくりなどの見直しを行いました。

訪問介護事業・介護予防訪問サービス、障害者総合支援法の居宅介護事業、地域生活支援事業の移動支援事業として県全域を対象にホームヘルパーを派遣しました。

今後も利用者の増加に努めます。またろうあ行事がある場合には、参加を促し仲間たちとの交流を増やしていくよう支援していきます。要支援や介護度が軽度（要介護１，２）方の割合が多いです。

ア．利用地域（令和元年３月末現在）

神戸市、尼崎市、西宮市、明石市、三田市、豊岡市、三木市、多可町、福崎町

イ．ヘルパー派遣時間

平成 30 年度　介護保険・・・・・２，７３７時間１０分
障害福祉支援・・・・・７９７時間１５分
地域生活支援事業・・・・６３時間２０分

令和元年度　介護保険・・・・・３，２０５時間 30 分
障害福祉支援・・・・・７７４時間５３分
地域生活支援事業・・・４７９時間５０分

ウ．介護保険利用者数（令和元年３月末現在）※訪問介護事業

要支援１：　１名　（平成 30 年度　４ 名）
要支援２：　３名　（平成 30 年度　３ 名）
要介護１：１４名　（平成 30 年度 11 名）
要介護２：　５名　（平成 30 年度　８ 名）
要介護３：　０名　（平成 30 年度　１ 名）
要介護４：　２名　（平成 30 年度　１ 名）
要介護５：　０名　（平成 30 年度　０ 名）
合計　２５名　（平成 30 年度　28 名お）

介護保険利用者数（令和元年３月末現在）※居宅介護事業

要支援１：　１名　（平成 30 年度　４ 名）
要支援２：　４名　（平成 30 年度　３ 名）
要介護１：１１名　（平成 30 年度 11 名）
要介護２：１０名　（平成 30 年度　８ 名）
要介護３：　０名　（平成 30 年度　１ 名）
要介護４：　２名　（平成 30 年度　１ 名）
要介護５：　０名　（平成 30 年度　０ 名）
合計　２８名　（平成 30 年度　28 名）

エ．障害サービス利用者数（令和元年３月末現在）※家事援助及び通院等介助

区分１：　１名（平成 30 年度　０名）

区分２：　４名（平成 30 年度　８名）
区分３：　３名（平成３０年度　１名）
区分４：　０名（平成３０年度　０名）
区分５：　０名（平成３０年度　０名）
区分６：　０名（平成３０年度　０名）
合　計　　８名（平成３０年度　９名）

移動支援サービス利用者（令和元年３月末現在）
※介護保険サービス及び障害サービスとの重複利用者も含む
神戸市：６名　（平成 30 年度　２名）
三木市：１名　（平成 30 年度　１名）
尼崎市：１名　（平成 30 年度　０名）

オ．ブロック別利用者数（令和元年３月末現在）
・介護保険
阪神２名、神戸１６名、東播１名、西播１名、北播０名、丹有３名、但馬２名　合計２５名
・障害サービス（家事援助・通院介助）
阪神１名、神戸５名、東播１名、西播０名、北播１名、丹有０名、但馬０名　合計８名
・移動支援サービス
上記記載

他－１会員・関係団体相互扶助事業

１．　青年部

（１）総括

１．３本柱の基本を作っていこう！

第３０回兵庫県ろうあヤングレクリエーションの開催、「みんな集まれ！」と共にろう子供ふれあい企画の共催、第３８回兵庫県ろうあ者ソフトボール大会への参加を通して青年部員同士の交流を深めることができました。

また、役員として兵聴協幹部研修会に参加し、知識を深めました。

２．各協会青年部との連絡体制の強化を図ろう！

常任委員がいる協会では、青年部員間でのグループ LINE を作成しました。

常任委員がいない協会はろうあ協会会長を通したり、各協会の青年部長と直接連絡を取り合いました。

３．三大行事を大きく盛り上げていこう！

第３０回兵庫県ろうあヤングレクリエーションでは呼びかけ開始が遅れたこともあり、参加人数は少なくなってしまいましたが、こどもも含めて、参加者同士で交流を深めることができました。

社会生活教室ではデフラグビーをテーマとして、デフラグビーについて知るとともにチームワークの大切さを学ぶことができました。

４．県、近畿、全国の行事に参加しよう！

近畿レベルでは第３５回近畿ろうあヤングフェスティバル in 大阪、第６９回近畿ろうあ者大会 in 京都の青年の集いに参加しました。

全国レベルでは、宮城で開催された第６７回全国ろうあ者大会、愛知で開催された第３５回全国ろうあ青年部活動者会議及び全日本ろうあ連盟青年部創立５０周年記念式典、長野で開催された第５３回全国ろうあ青年研究討論会に参加しました。

５．ひょうご聴障ネットに協力していこう！

ふくろうふれ愛まつりへの出店、ふくろうカレンダーのイラスト執筆、購入を通してひょうご聴障ネットの運営に協力していきました。

６．こどもふれあい企画、保育への協力等、こども達と関わっていこう！

三木ホースランドパークにて「みんな集まれ！」とろう子どもふれあい企画を共催しました。こども達だけではなく、保護者の方向けにも青年部員の生い立ち語りや保護者同士の交流会を設けたことで、こどもと保護者の両方に楽しんでいただくことができました。

また、兵聴協の新規事業である「乳幼児手話獲得支援事業」の手伝いも行いました。

７、N-Action ひょうご等、聞こえる青年との関係づくりを進めよう！

５名の N-Action メンバーに第５１回近畿ろうあ青年研究討論会の実行委員会として協力してもらいました。また、１１月には（一社）奈良県聴覚障害者協会青年部長の加藤慎也氏を講師に招いて、共催で学習会を開きました。

８、第５１回近畿ろうあ青年研究討論会 in 兵庫を成功させよう！

淡路国際会議場での開催に向けて実行委員会一丸で取り組んできましたが、台風接近の

ため参加者の安全を優先し断腸の思いで中止しました。長い近畿ろうあ青年研究討論会の歴史の中でも初めてのことで、中止の判断基準や災害時の対応について考えさせられました。

（2） 事業経過報告

日程	内容	開催地 参加者数
2019 年		
4月 7日	2019 年度近畿ろうあ連盟青年部 定期代議員会	京都 兵庫５名
4月 13 日	第８回㈱兵庫県聴覚障害者協会青年部 総会	神戸 １４名
6月 8日	第３０回兵庫県ろうあヤングレクリエーション	尼崎 １２名
6月 15 日	第６７回全国ろうあ者大会 青年のつどい	宮城 兵庫５名
7月 6日	ろう子どもふれあい企画	三木 ９２名（大人、子ども合計数）
8月 10 日	第 38 回全国ろうあ青年部活動者会議	愛知 兵庫２名
8月 31 日	第 35 回近畿ろうあヤングフェスティバル	大阪 兵庫９名
10 月 6日	第 69 回近畿ろうあ者大会 青年のつどい	京都 兵庫４名
10 月 12 日～13 日	第 51 回近畿ろうあ青年研究討論会	兵庫 中止
10 月 27 日	第 14 回ふくろう・ふれ愛まつり	淡路島 ８名
11 月2日～4日	第 53 回全国ろうあ青年研究討論会	長野 兵庫９名
11 月 23 日	N-Action ひょうご共催企画	神戸 ３０名
12 月 1日	2019 年度近畿ろうあ連盟青年部 中間代議員会	西宮 兵庫５名
2020 年		
1月 13 日	第 46 回兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどい	豊岡 ９名
2月8日	青年講座（社会生活教室 ※スポーツ部と共催）	明石 全４０名
2月 15 日～16 日	第５１回全国委員会	神奈川 兵庫１名
2月 22 日	第 10 回西日本エリア幹部研修会	広島 兵庫２名
3月 15日	第 13 回近青＆近コン合同企画	京都 中止

2. 女性部

（1）総括

ア．第8回定期総会

女性部会委員出席４３名のうち出席１７名、委任２６名。地元行事などで全員委任した女性部もありました。女性部会、定期総会は県下各ろうあ協会女性部代表がそれぞれの意見を出し合って、次の企画などに反映していったり、承認をする大事な会合です。又、県女性部行事に参加することでお互いの情報共有ができるので、優先参加をしていただきたいと思います。

イ．社会見学

今年は５月に岡山県へ行きました。倉敷市散策は真夏並みに暑く、参加者の熱中症が心配でしたが、バス運転手や添乗員の配慮で時短になりました。倉敷散策では、星野仙一記念館に入ったり、マスキン

グテープ発祥地による店がたくさんありました。青色のおまんじゅうや青色ソフトクリームがあるのもＧパン発祥地からだそうです。児島見学ではジーパンの布を使ってストラップ作りを体験しました。

ウ．第４９回近畿ろうあ女性フォーラム・近畿ろうあ連盟女性部設立６０周年祝賀会

今年の分科会は「昔と今」を柱にしたテーマで討論しました。「老後」分科会の参加がとても多かったです。初めて参加の若い女性から、女性部を年配の集まりだと思って興味がなかったが、いろいろと話を聞いて、女性として知る権利がある事がわかり、自分にとって女性部が必要と自覚した。という嬉しい発言がありました。討論会後、近畿ろうあ連盟女性部創立６０周年祝賀会が盛大に開かれました。歴代女性部長のお話やおいしい食事を頂きました。数年前の分科会のビデオ上映があって、知っている人が映るのを見て、「変わらないな～」「若かったな」など盛り上がり、賑やかで楽しいひと時でした。祝賀会のため、例年の大学習会はお休みです。

エ．第３８回兵庫県ろうあ女性のつどい

介護保険制度が始まる前からヘルパーとして活動していた福田美枝子氏（一般財団法人和歌山県聴覚障害者協会会長）より、有料老人ホーム「きのくにの手」開設にあたり、名前の由来や利用者の親の願い、施設を建てた時の建築士との出会い、利用者の様子などの話をいただきました。今の若い会員に対しては、やらないよりは失敗しても良いからやってみなさい。と言っているそうです。福田さんの人柄そのままのほんわかした講演でした。

オ．女性セミナー（社会生活教室）

「愛子の部屋」～戦中・戦後・そして手話と出会う～のテーマで講師の山原愛子氏、浅野京子氏のわかりやすい魅力ある手話通訳を通して話をしていただきました。聞こえない生徒に伝えるためのいろいろな苦労があったそうです。戦中の寮生活で空襲発令が出たら生徒を誘導する方法や防空壕には入らず蜘蛛の子を散らすように山のほうへ逃げるなど、私たちの知らない戦争時の苦労など、1 時間 30 分があっという間！でした。

カ．第４９回全国ろうあ女性集会

今年は沖縄集会で、兵庫から 10 名参加。沖縄ならではの工夫がこらされた企画でした。記念講演は、吉本喜劇に所属する大屋あゆみ氏が、コーダとしての苦悩や経験の中から「いつかは聞こえる人も聞こえない人も共に楽しめるステージを全国をまわって実現していきたい」夢を大きな手話を使って話して下さいました。集会の３日後に首里城が全焼するニュースは本当にショックで残念な事でした。

キ．女性部会

赤穂ろうあ協会から初めての出席や久しぶりの出席が何人かありました。県女性部の行事案内について、一人ひとりの女性会員にまで届いているのか気になっていると伝えました。女性部会委員が他に代わる時や連絡先・郵送先の変更時には事務局へ連絡が必要です。情報交換では、若い女性会員に入って欲しい。最近は本部、青年部や老人部と共同で行う事が多いそうです。女性部会は一般女性会員もオブザーバーできるので、気軽に参加してください。

ク．デフ女子会（新年会）

高校生や卒業生が育てた野菜を使った料理が出る「農業高校レストラン」で、初めて参加の会員やサークル員も手話でお話をしながら、新年の交流をしました。

ケ．第４４回全国ろうあ女性研修会

全日本ろうあ連盟女性部主催の研修会は、神奈川県川崎市で行なわれました。駐在所にいる手話通訳のできるお巡りさんこと田川孝詞氏からお話をいただきました。子どもの時に親戚にろう者がいたのがきっかけで、現在は手話通訳士です。交番と駐在所の違いは？とか、神奈川県警での手話の取り組みなどとても面白かったです。参加者１26 名の大盛況でした。

（２）事業経過報告

ア．県女性部

- ４月１４日（日）第８回定期総会　神戸市障害者福祉センター
- ５月１９日（日）社会見学　岡山県倉敷市・児島市
- ９月２２日（日）第３８回兵庫県ろうあ女性のつどい　神戸市たちばな職員研修センター
- １月 ９日（土）女性部会　あすてっぷKOBE
- 〃　デフ女子会（新年会）　農業高校レストラン

イ．近畿ろうあ連盟女性部

- ４月２０日（土）代議員総会　大阪府立谷町福祉センター
- ６月３０日（土）フォーラム打ち合わせ　大阪府立谷町福祉センター
- ７月２８日（日）第４９回近畿ろうあ女性フォーラム　大阪府立谷町福祉センター
- 〃　設立６０周年祝賀会　〃
- １１月２３日（土・祝）代議員会　大阪府立谷町福祉センター

エ．全日本ろうあ連盟女性部

- １０月２３日（金）～２５日（日）第４９回全国ろうあ女性集会　沖縄県てぃるる
- １月３０日（土）第４４回全国委員会　神奈川県川崎市教育文化会館
- １月３１日（日）第４６回女性研修会　神奈川県川崎市教育文化会館

３．高齢部

（１）総括

ア．社会見学　７月１０日（水）　参加者３８名

参加者３８名は２班に分かれ担当者より分かりやすい説明を受けながらラインを見学。最後グリコ売店にて沢山のお土産を購入。現地解散。

イ．敬老会　９月１６日（祝・月）　参加者６０名

敬老会は兵庫勤労市民センターで行われ、80 歳以上のご長寿の方は１８名。最高齢は８９歳でした。この日を楽しみに遠方より来られた方もおられました。祝い金を贈り、喜んで頂きました。参加された皆さんは全員お元気で昔懐かしいお話等をしていただきました。その後、しりとりゲームでは長寿の皆さんうまく話し合って盛り上がりました。

ウ．こうれいしゃ講演会　９月１６日（祝・月）　参加者８０名

神戸市西区在住のろうあ者の小野多恵子氏をお招きして「私の喜怒哀楽」のテーマで、講演していただきました。母親とのかかわり、ろう学校時代、活動についてユーモアたっぷりお話していただきました。

エ．　ろうあ高齢者グランドゴルフ大会　１１月２日（土）　参加者５７名

第１４回兵庫県ろうあ高齢者グランドゴルフ大会は神戸市しあわせの村球技場で開催。コースはＡ・Ｂの２コースがあり、午前と午後で交代してコースを回り、プレーをしました。ホールインワンも出て大変盛り上がった大会となりました。

オ.　一泊二日の旅　2月２１日（金）～２２日（土）　中止

年に一度の楽しい行事でしたが新型コロナウイルスの影響で今年度の旅行は中止することにしました。大変残念でした。

（１）事業報告

４月１３日（土）　第８回高齢部定期総会　（出席２２名・委任２０名）
４月１３日（土）　第１回役員会　福祉センター　（８名）
６月　８日（土）　第２回役員会　福祉センター　（７名）
７月１０日（水）　２０１９年度社会見学　グリコピア神戸　（３８名）
８月２５日（土）　第３回役員会　福祉センター　（４名）
９月１６日（祝）　第３３回兵庫県ろうあ者敬老会　兵庫勤労市民センター（６０名）
第９回こうれいしゃ講演会【社会生活教室】　（８０名）

１０月１９日（土）　第４回役員会　福祉センター　（６名）
１１月　２日（土）　第１４回兵庫県ろうあ高齢者グランドゴルフ大会
神戸しあわせの村（５７名）

２０２０年

２月　１日（月）　第５回役員会　福祉センター　（６名）
２月２１日（金）～２２日（土）　20191泊2日の旅　中止
３月２３日（土）　五役会議　姫路市総合福祉会館　（４名）
３月２８日（土）　第６回役員会　中止

近畿

２０１９年

５月２３日（水）　近畿ろうあ連盟高齢部代議員会議　【西　宮】　（３名）
９月　８日（土）　第 40 回近畿ろうあ高齢者大会＆第 30 回ＧＢ競技大会＆
～2日（日）　第１０回ＧＧ競技大会　【奈　良】　（１７名）
１０月１６日（水）　第４回近畿ろうあ高齢部幹部研修会　【京　都】　（２名）
１１月１５日（火）　近畿ろうあ連盟高齢部代議員会議　【西　宮】　（３名）

全国

２０１９年

６月　８日（土）　第６７回全国ろうあ者大会・高齢者のつどい　【宮　城】（多　数）
９月２７日（木）　第３１回全国ろうあ高齢者大会＆第３３回ゲートボール競技大会
～１０月１日（日）　＆第１０回グラウンドゴルフ大会　【和歌山】（８名）
２月２１日（金）～２２日（土）第１２回全国ろうあ高齢部代表研修会　【福　岡】（０名）

４．スポーツ部

（１）令和１年度　総括報告

ア．近畿ろうあ者体育大会・全国ろうあ者体育大会

５月開催の近畿ろうあ者体育大会(大阪)では、兵庫から役員含め４０名の参加があり、前年度の滋賀大会参加数７１名と比べて３１名減となりました。これは、野球競技とバレーボール競技のチーム不参加が大きな理由です。９月開催の全国ろうあ者体育大会(鳥取島根)では、兵庫から役員含め３９名の参加があり、前年度の埼玉大会参加数５２名と比べて１３名減となりました。こちらも、野球競技のチーム不参加がありました。

イ．スポーツ部三大行事

兵庫県ろうあ者ソフトボール大会

神戸ブロックにおいて開催され、姫路、神戸、青年部＆N-action、個人申込者で集めたハバタンの４チーム約４５名の参加がありました。姫路チームが優勝６連覇を果たしました。来年度開催地は、阪神ブロックの予定でしたが､県行事の地元開催地がかさんだため西播ブロックの姫路で開催予定です。（西播ブロック→阪神ブロック→丹波豊岡ブロック）

スポーツふれあい

神戸六甲ボウルにおいてボウリング交流会を企画していましたが、新型コロナウイルス感染の世界的拡大が加速している状況下、政府や行政からの自粛要請により中止しました。

兵庫県ろうあ者社会生活教室

ワールドラグビーカップの大盛り上がりに乗って､『デフラグビー』も知ってもらおう､とデフラグビー世界大会(2018 年)で日本代表監督を務め、日本聴覚障がい者ラグビーフットボール連盟の理事でもある落合孝幸氏による講演のあと、ラグビーボールを使ってゲームやパス体験をし、４１名ほどの参加者が有意義な時間を過ごしていただけました。

ウ．全国・国際の動き

第９回アジア太平洋ろう者競技大会（香港）…11 月１日(金)～11 日(月)

現地の逃亡犯条例改正案に反対する民主化デモの過熱化などを鑑み、アジア太平洋ろう者スポーツ連合（APDSC）と大会実行委員会（香港ろうスポーツ協会）は話し合いの結果、10 月９日付けで大会を中止にすることが各国に通知されました。この大会は 2021 年に開催される、夏季デフリンピックのアジア予選になるだけに残念です。2021 年 12 月５日～21 日、ブラジルのカシアス・ド・スルを予定しているとのことです。≪南米大陸では初めての開催≫

第１９回冬季デフリンピック（ヴァルテッリーナ・イタリア）…12 月 12 日(木)～21 日(土)

今大会ではメダル無獲得に終わりました。日本選手団は、アルペンスキー、アルペンスノーボード、スノーボードフリースタイル、カーリングの４競技に参加しました。ちなみに、本大会よりチェスが正式種目として導入されました。

（２）令和１年度　事業経過報告

第 46 回近畿ろうあ者体育大会 監督主将会議

【日程】２０１９年5月１２日(日) １３：３０～１６：００
【場所】大阪市長居障がい者スポーツセンター（大阪府）

第４６回近畿ろうあ者体育大会（大阪）
【日程】２０１９年5月２５日(土)～２６日(日)
【場所】大阪府内分散開催（全体開会式はなし）
【結果】４０名／バレーボール（女子準優勝)、卓球（男子１回戦敗退、女子棄権)、ボウリング（女子個人戦優勝)、フットサル（男子Ａ女子Ａともにアベック優勝）

第１９回全国障害者スポーツ大会／聴覚障害者バレーボール競技 近畿地区予選大会
【日程】２０１９年5月１９日(日) ９：００～１６：００
【場所】東近江市布引運動公園体育館
【参加】兵庫県男子選手１０名・兵庫県女子選手９名・神戸市女子選手９名
【結果】大阪市男子チーム、大阪市女子チームが優勝（全国大会出場権獲得）

第５３回全国ろうあ者体育大会（鳥取島根）
【日程】２０１９年9月２０日(金)～２２日(日)
【場所】鳥取県内（鳥取市､倉吉市､北栄町､米子市)、島根県内（松江市､出雲市）
【結果】３９名／バレーボール：男子リーグ戦予選敗退、女子４位、陸上：男子２部 400m1 位、男子２部 800m 走 １位、男子２部 200m２位（33″05）走り幅跳び２位、5,000m、10,000m １位　テニス：男子ダブルスＡ準優勝、男子ダブルスＢ棄権、バスケットボール：女子３位

第１９回全国障害者スポーツ大会／聴覚障害者バレーボール競技 ←中止
【日程】２０１９年１０月１２日(土)～14 日(月･祝)
【場所】ひたちなか市総合運動公園総合体育館（茨城県）
【結果】台風１９号接近に伴う影響のため全日程「中止」

第３８回兵庫県ろうあ者ソフトボール大会
【日程】２０１９年１１月１０日（日）９：００～１６：００
【場所】大倉山公園野球場（神戸市）
【参加】姫路チーム１２名、神戸チーム１１名、青年部＆N-action チーム１０名、ハバタンチーム１２名（個人申込者：宍粟市､加古川市､明石市､尼崎市､西宮市）　合計４５名
【結果】優勝：姫路（６連覇)、２位：神戸、３位：ハバタン、４位：青年部＆N-action

兵庫県ろうあ者社会生活教室（青年部合同企画）
【日程】２０２０年2月8日(日) ９：３０～１２：００
【場所】明石市立勤労福祉会館 ２階多目的ホール
【内容】講演「目で聞くコミュニケーション」講師：落合孝幸氏
【参加】４１名

スポーツふれあい２０１９「ボウリング交流会」 ←中止

【日程】２０２０年3月１４日(日) １４：００～１７：００

【場所】神戸六甲ボウル（神戸市）

新型コロナウイルス感染の世界的拡大のため政府および行政からの自粛要請による中止

≪県≫

４月　６日（土）　決算会計監査　（兵聴協事務所分室）
４月１４日（日）　第８回スポーツ部総会　（神戸）
６月　７日（金）　第１回役員会　出席４名／委任１名　（兵聴協事務所分室）
７月３０日（火）　青年部合同会議　（神戸）
９月１１日（金）　第２回役員会　出席４名／委任１名　（兵聴協事務所分室）
１０月２６日（土）　中間会計監査　（兵聴協事務所分室）
１０月２６日（土）　第３８回兵庫県ろうあ者ソフトボール大会監督主将会議（神戸ブロック）
１１月１０日（日）　第３８回兵庫県ろうあ者ソフトボール大会　（神戸ブロック）
１１月２０日（水）　第３回役員会　出席５名　（兵聴協事務所分室）

２０２０年

１月１７日（金）　青年部合同会議　（神戸）
２月　８日（日）　兵庫県ろうあ者社会生活教室／青年部・ｽﾎﾟｰﾂ部合同企画）
（明石市立勤労福祉会館）
３月１４日（土）　【中止】スポーツふれあい２０１９　（神戸）
３月２６日（木）　第４回役員会　出席５名　（明石）

≪近畿≫

５月１１日（土）　第１回近畿ろうあ連盟体育部常任委員会　（大阪）
５月１２日（日）　午前/近畿ろうあ連盟体育部２０１８年度全体委員会　（大阪）
５月１２日（日）　午後/第４６回近畿ろうあ者体育大会監督主将会議　（大阪）
５月１９日（日）　第１９回全国障害者スポーツ大会
聴覚障害者バレーボール競技近畿地区予選大会　（滋賀）
５月２５日～２６日（日）　第４６回近畿ろうあ者体育大会　（大阪）
７月２１日（日）　第２回近畿ろうあ連盟体育部常任委員会　（大阪）
１１月１７日（日）　第３回近畿ろうあ連盟体育部常任委員会　（大阪）
２月２９日（土）　臨時近畿ろうあ連盟体育部常任委員会　（大阪）
３月　８日（日）　第４回近畿ろうあ連盟体育部常任委員会　（大阪）

≪全国≫

９月２０日～２２日（日）　第５３回全国ろうあ者体育大会　（鳥取･島根）
９月２０日（金）第５３回全国ろうあ者体育大会ﾌﾞﾛｯｸ･加盟団体体育部長会議（鳥取･島根）
１０月１２日～１４日（月･祝）　【中止】第１９回全国障害者スポーツ大会　（茨城）

≪国際≫

１１月　１日～１２日（火）　【中止】第９回アジア太平洋ろうあ者競技大会　（香港）
１２月１２日～２１日（土）　第１９回冬季デフリンピック （ヴァルテッリーナ・イタリア）

５．全国手話検定試験事業

（１）全国手話研修センターが主催する「全国手話検定」の兵庫会場として当法人が準備を進め、試験実施に協力しました。（５級～１級）

ア．５級・４級試験の実施（台風のため中止）

日　程：令和元年１０月１２日(土)

会　場：兵庫県立のじぎく会館、兵庫県立聴覚障害者情報センター

イ．３級・２級試験の実施

日　程：令和元年１０月１３日（日）

会　場：兵庫県立のじぎく会館

受験者：３級１３８名、２級７９名

ウ．準１級・１級試験の実施

日　程：令和元年１０月１９日（土）

会　場：兵庫県立聴覚障害者情報センター

受験者：準１級２４名、１級１９名

エ．団体受験の実施

西脇市役所（2/8）３級１３名

淡路ふくろうの郷（2/22）４・３級１２名

６．第１５回兵庫県聴覚障害者文化祭

日　時　　令和元年９月２８日（土）午前11時00分～午後3時00分

場　所：神戸市立灘区民ホール

２階兵庫県立聴覚障害者情報センター、５階マリーホール

内　容：・ステージ発表（ダンス、和太鼓、チャンゴ、双人変面、手話落語など）

・展示コーナー（写真、トリックアート、磁器人形、手作り手芸品など）

・バザー出店（物品、特産物など）

・飲食コーナー（カレー、スープぎょうざ、うどん、コーヒー喫茶など）

・防災コーナー（防災リュックの展示、非常食の試食など）

・健康コーナー（健康相談、血圧チェック、歯の相談、お薬相談など）

・心肺蘇生コーナー（ＡＥＤ操作、人工呼吸法体験など）

・第７回聴覚・視覚・発達障害のための情報福祉機器展

参加者：７００人

７．第３６回兵庫県ろうあ者大会

日　時：令和元年６月２３日（日）　午前１０時００分～午後４時００分

場　所：加東市滝野文化会館　大ホール

内　容：・オープニング（滝呼「たきっこ」）

・第一部　大会式典(主催者挨拶、来賓祝辞、来賓紹介など)

議　　事（会務報告、大会宣言、大会決議など）

特別企画（神戸市新長田に新設する施設名称の公募結果の発表）

・第二部　アトラクション（兵庫県立社高等学校ＪＲＣ部）

記念講演　題名「ノルウェーの福祉」
講師　マリア・ノビコバ　氏（ノルウェーろう協会会員として活躍中）
・第三部　引き継ぎ式、福引（次回開催地への引継　加東市から西宮市へ）
参加者：４７５名

８．第４６回兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどい

日　時：・令和２年１月１３日（月・祝）午前１０時００分～午後３時３０分
場　所：・豊岡市民プラザ　ほっとステージ
内　容：・第一部　オープニング　「ダンス」スタジオフレア鳥取
大 会 式 典　（来賓、来賓祝辞等）
成人祝いのつどい　（新成人紹介、励ましのことば、記念品贈呈など）
子年生まれ祝いのつどい　（紹介、お祝い、記念品贈呈）
・第二部　アトラクション　「書道パフォーマンス」兵庫県立出石高等学校書道部記
念 講 演　題 名「日本の聴覚障害者として英語を習得すること」
講 師　小林　育末　氏
・第三部　次回開催地への引継ぎ　豊岡市から西脇市へ
福引抽選会
参加者：　３５０名

９．第３８回兵庫県ろうあ者ソフトボール大会

【日程】２０１９年１１月１０日（日）９：００～１６：００
【場所】大倉山公園野球場（神戸市）
【参加】姫路チーム１２名、神戸チーム１１名、青年部＆N-action チーム１０名、ハバタン
チーム１２名（個人申込者：宍粟市、加古川市、明石市、尼崎市、西宮市）　合計４５名
【結果】優勝：姫路（６連覇）、２位：神戸、３位：ハバタン、４位：青年部＆N-action

１０．第５回兵庫県ろうあ者討論集会

日　程：令和元年１１月１６日（土）
場　所：兵庫県立聴覚障害者情報センター
参　加：５１名
内　容：『国連、障害者権利条約及びパラレルポート取り組みについて』
講　師：藤原　久美子氏（特定 NPO 法人 DPI 日本会議常任委員/DPI 女性障害者ネットワーク代表）

１１．幹部研修会

第１回幹部研修会
日　程：令和元年７月７日（日）
場　所：神戸市立総合福祉センター
参　加：５４名
内　容：「障害者権利条約　ーパラレルポート草案＆学習会ー」
講　師：嶋本 恭規 氏　（一般財団法人全日本ろうあ連盟理事）

第２回幹部研修会

日　程：２０２０年２月１５日（土）

時　間：１３：３０～１６：３０

場　所：兵庫県立のじきく会館

参　加：４９名（尼崎から５名）

内　容：「ろうあ運動の現状と課題について」「分科会」

講　師：（公社）兵庫県聴覚障害者協会理事

管理部門

1.理事会

		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
		2019/04/20	2019/06/1	2019/06/22	2019/08/8	2019/10/26	2019/12/24	2020/01/12	2020/03/21
理事長	本郷　善通	出	出	出	出	出	出	出	出
副理事長	小林　泉	出	出	出	出	出	出	出	出
理　事	嶋本　恭規	出	出	出	出	出	出	出	出
	嘉田　眞典	出	出	出	出	出	出	出	出
	仲井　正	出	出	出	出	出	出	出	出
	橋詰　一則	出	出	出	出	出	出	出	出
	岩本　吉正	出	出	出	出	出	出	出	出
	山本　紋子	出	出	出	出	出	出	出	出
	古　　隆喜	出	欠	出	出	出	出	出	出
	足立　達哉	出	欠	出	出	出	出	出	出
	木戸めぐみ	出	出	出	欠	出	出	出	欠
	大塚登代子	出	出	出	出	出	出	出	欠
	中村　泰輔	出	出	出	出	出	出	出	出
監　事	吉野 浩	出	出	出	出	出	出	出	出
	井谷 亮	出	出	出	出	出	出	出	出
	川上　能壽	出	出	出	欠	出	出	出	出

2．総会

第８回総会　令和元年６月２２日（土）１３時 30 分～１５時 30 分

神戸市障害者福祉センター

出席　７７人　委任　４２４人

［議事結果］　　不承認　保留　　承認

第１号議案　議長選出の件　　０名　　０名　　７７名

第２号議案　平成３０度事業報告の件　　０名　　０名　　７７名

第３号議案　平成３０度決算報告及び平成３０年度監査報告の件

０名　　０名　　７７名

3．事務局

・協会の実務全般のとりまとめ

協会が実施する事業（公益事業、独自事業、委託事業など）を推進するにあたって必要な実務作業を行い、事業の円滑化を図ると共に行政・関係機関・団体等との連携及び関係づくりにつとめました。

4. 2019 年度人事異動報告

1．職員の採用

（1）正職員

2019 年４月１日　竹原 泰子（本部事務所／正職員）

（2）嘱託職員

2019 年４月 11 日　中田みゆき（たじま聴覚障害者センター／嘱託職員）
2020 年１月 11 日　堀島 景子（はりまふくろうの家／パート職員→嘱託職員）
2020 年３月　１日　岡田 聡子（たじま聴覚障害者センター／嘱託職員）
2020 年３月　１日　久保田雪子（はりまふくろうの家／嘱託職員）

（3）パート職員

2019 年４月　１日　竹内 利次（にしのみや聴覚障害者センター／パート職員）
2019 年４月　１日　津 和子（兵庫県立聴覚障害者情報センター／パート職員）
2019 年４月　１日　塚本 展子（はりまふくろうの家／パート職員）
2020 年３月 16 日　後藤 幸子（ひょうご聴覚障害者介護支援センター／パート職員）

2．職員の退職

2019 年　４月 30 日　戸田 春美（たじま聴覚障害者センター／嘱託職員）
2019 年　７月 31 日　岡本 慶子（ひょうご聴覚障害者介護支援センター／パート職員）
2019 年　８月 31 日　塚本 展子（はりまふくろうの家／パート職員）
2019 年 11 月 30 日　中田みゆき（たじま聴覚障害者センター／嘱託職員）
2020 年　１月 31 日　西山 史子（たじま聴覚障害者センター／パート職員）
2020 年　３月 31 日　大川 能子（兵庫県立聴覚障害者情報センター／パート職員）
2020 年　３月 31 日　山下智恵子（はりまふくろうの家／嘱託職員）
2020 年　３月 31 日　村上 里美（はりまふくろうの家／パート職員

参考資料／関連団体・各種委員会等

１．四団体トップ会議

兵庫手話通訳問題研究会、県手話サークル連絡会、社会福祉法人ひょうご聴覚障害者福祉事業協会と共に兵庫のあらゆる課題、問題等や今後の取り組み等を中心に意見交換を行いました。

出席者：各団体の三役

場　所：兵聴協事務所分室

２．各種大会、研修会への協力及び派遣

（１）近畿

ア．第２９回近畿手話サークルフォーラム in 兵庫（中止）

日　時　令和2年3月29日（日）１０：００～１６：００

場　所　神戸市立勤労会館

（２）兵庫県関係

・兵庫県くすの木学級運営委員会への協力（兵庫県教育委員会）年2回（神戸）【本郷】

（３）近畿ろうあ連盟及び近畿の行事への協力と代表派遣

・第３６回近畿手話通訳問題研究討論集会（滋賀）令和元年１２月１３～１４日
【嘉田・橋詰・古】

・第８回近畿ろうあ者福祉・労働フォーラム（和歌山）　令和元年１１月１０日【嘉田】

・第２９回近畿ろう教育フォーラム（京都）令和2年2月1日【古】

・第３０回近畿手話サークルフォーラム（兵庫）令和２年３月２９日（中止）

・２０１９年度近畿ろうあ連盟幹部研修会（奈良）令和2年1月２５日～２６日

・近畿ろうあ連盟評議員会（奈良）令和２年1月２６日
【本郷、嘉田、山本紋、古、足立、岩本、橋詰】

・第１回近畿ろうあ連盟代表者協議会（大阪）令和元年4月２９日
【本郷、小林、嶋本、山本、嘉田】

・第2回近畿ろうあ連盟代表者協議会（奈良）令和2年1月２５日
【本郷、小林、嶋本、山本紋、嘉田】

・近畿地区専従職員研修会（兵庫）令和元年１０月３１日～11 月１９日【小林、嶋本、山本、嘉田】

・第１回近畿ろうあ連盟手話対策部会議・三団体会議（大阪）令和元年5月１１日【嘉田】

・第2回近畿ろうあ連盟手話対策部会議・三団体会議（大阪）平成元年7月8日【嘉田】

・第3回近畿ろうあ連盟手話対策部会議・三団体会議（京都）平成元年１１月3日【嘉田】

・第4回三団体会議（兵庫）令和２年3月２９日（中止）

（４）全日本ろうあ連盟、全国ろうあ者大会への協力と代表派遣

・第7回（通算第７０回）一般財団法人全日本ろうあ連盟評議員会（宮城）
第６６回全国ろうあ者大会（宮城）令和２年6月１６日
【本郷、小林、嶋本、嘉田、山本、岩本、足立、古、橋詰】

・第４６回近畿ろうあ者体育大会（大阪）令和元年5月２５～２６日【木戸、古、嘉田】

・第６９回近畿ろうあ者大会（京都）令和元年１０月6日　【本郷・嘉田・吉野】

・全通研サマーフォーラム（奈良）令和元年8月 16日～１８日

【小林、嶋本、山本、橋詰、足立、岩本、嘉田、中村】

・第５３回全国ろうあ者体育大会（鳥取・島根）　令和元年９月２０日～２２日

【小林・山本・岩本・仲井・嘉田・木戸】

・第３１回ろう教育を考える全国討論集会（群馬）令和元年８月３日～４日【小林・古】

・第３３回全国ろうあ者相談員研修会・第２４回全国職業安定所手話協力員

兼ろうあ者労働問題フォーラム in 大阪【岩本】

３．各種委員会

（１）聴覚障害者センター支援委員会

ア．会議日程：第3水曜日　１８時３０分～２０時３０分

４月１７日、５月１５日、６月１９日、１０月１６日、12月１８日、２月１９日

イ．　場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター

ウ．構成団体：兵庫県聴覚障害者協会・兵庫県難聴者福祉協会・兵庫盲ろう者友の会
神戸ろうあ協会・神戸市難聴者協会・兵庫県手話サークル連絡会
兵庫県要約筆記サークル連絡会・兵庫手話通訳問題研究会
神戸市手話サークル連絡会・要約筆記こうべ

エ．活動内容

・平成３１年度に向けた要望書を各団体から意見をもとに、県・神戸市に提出しました。

・センター事業の理解を深めるための学習を行いました。

（２）ひょうご聴障ネット

ア．目的

兵庫県下の聴覚障害者関連福祉事業への支援を行うとともに、聴覚障害者福祉の向上と聴覚障害者に対する社会的啓発に努める。聴覚障害者関連福祉事業の安定した運営を図るには具体的な支援の取り組みが必要になるため、「聴覚障害者の『完全参加と平等』の実現をめざす会」と「ひょうご高齢聴覚障害者施設建設委員会」の活動をひきつぐ団体として設立しました。

イ．２０１９年度の活動

（主催事業・行事）

・総会・活動報告会・聴覚障害者の社会参加を守るためのアピールパレード　５月１２日(日)

・夏の学習会「障害者雇用水増し問題を斬る」　８月１１日（日）
尾上浩二氏（DPI 日本会議 副議長）

・兵庫県聴覚障害者文化祭　９月２８日(土)

・年４回「ひょうご聴障ネットニュース」発行

・各地域へのオルグ活動

・役員会　毎月第３木曜日

・事務局会議　毎月第２、４木曜日

・2020年ふくろうカレンダーの作成、販売

・兵庫県議会訪問　９月２７日（金）　公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会・NPO 法人兵庫盲ろう者友の会・兵庫県難聴者福祉協会とともに各会派を訪問

（協力事業・行事）

・災害と障害者のつどい（NPO 法人兵庫障害者センター主催）2020 年１月 18 日(土)

・第 14 回ふくろうふれ愛まつり　10 月 27 日(日)

・旧優生保護法被害国賠訴訟傍聴、呼びかけ等支援

〈支援金〉

申請なし

〈会員・資産〉

2020 年３月 31 日現在　会員数 374 人・86 団体

（内訳：マンスリー/63、個人/307、特別/4　団体/86）

2020 年３月 31 日現在　資産残高 27,575,153 円

〈兵聴協との関わり〉

・兵聴協から代表委員１名・事務局次長１名・委員２名を派遣。その他学習会などで協力。

・「ろうあ兵庫」で毎号ひょうご聴障ネットの活動を会員に報告、ＰＲを行いました。

（3）兵庫のろう教育を語り合う会

ア．定例会議：第一木曜日に開催　兵聴協分室・神戸市立総合福祉センター　１９:３０～

イ．主な活動

・第２１回ろう教育フォーラム in 兵庫

日　時：7月１３日（土）１３:３０～１６:００

会　場：福祉コミュニティプラザ/ぷらざこむ１

内　容：第２１回ろう教育フォーラム「夢を伝える」

～デフリンピック選手・教師・そして、ろう者として伝えたいこと～

講　師：前島　博之 氏

参加者：７０名

ウ．機関紙掲載

「ろうあ兵庫」「ひょう通研ニュース」「県サ連だより」に活動内容の報告やろう教育の情報などを掲載。

エ．県下、県外でのその他の活動

・全国ろう教育担当者会議（令和元年８月２日）

・第２９回近畿ろう教育フォーラム in 京都（令和２年２月１日）

オ．今後の方針

今後も聴覚特別支援学校や難聴学級を実施している一般学校の連携を図りながら、教育環境や子ども、保護者の置かれた状況に柔軟に対応していけるよう努めます。学校側の企画にも積極的に協力し、学校側にも当協会の企画への参加を促進するなど、更なる連携強化を図ります。

・「第３０回ろう教育近畿フォーラム in 兵庫」と「第２４回ろう教育学習会」への取り組み

・聴覚障害児を持つ保護者や教員との交流や情報提供、ネットワーク作り（相談、訪問、交流など）

・県下聴覚特別支援学校や行政関係（県・市教育委員会）との連携

（4）手話通訳制度化推進委員会

ア．定例委員会

毎月第４金曜日　　第３８４回～第３９５回　　１９：００～２１：００

場所：神戸市立総合福祉センター

イ．構成委員：　計１１名

兵庫県聴覚障害者協会（1 名）　　神戸ろうあ協会（１名）

兵庫手話サークル連絡会（2 名）　　兵庫手話通訳問題研究会（4 名）

神戸市手話サークル連絡会（２名）　　兵庫県立神戸聴覚特別支援学校（１名）

ウ．活動内容

・第２６回“なるほどザ制度化”学習会開催

日時：令和元年１１月４日（月・祝）　１３：３０～１６：３０

場所：相生市総合福祉会館４階ホール

内容：手話言語条例について考えよう

参加者：５１名（ろう者１４名・聞こえる人２７名・委員１０名）

エ．“豊かな人生を送るために”聴覚特別支援学校向けパンフレット配布

・姫路聴覚特別支援学校　担当：嘉田・槙本　対象：高等部３年生　５名

神戸聴覚特別支援学校　担当：嘉田・仲井　対象：高等部３年生　６名

・推進委員会作成のＤＶＤを見てもらい、説明を行いました。訪問して直に話をすることで制度に興味を持つ生徒もおられ、今後とも継続して取り組みます。

オ．総括

２０１８年に行った手話言語条例アンケート結果から見える課題の分析を行い、学習会につなげた。多くの地域の方に参加いただき条例について考える良い機会になりました。しかし学習会開催が目的ではなく、地域の方が自身の問題として受け止め、今後の施策に反映させるための参考にしていただき取り組んでいただくことを願っています。

また今年度は兵聴協の専門委員会の１つでもある当委員会の見直しが行われており『委員の選出は三団体からとする。』との案が出されています。話し合いは継続されており見直しの結果がどのようになったとしても、委員会は兵庫全体を視野に入れ残された運動の課題の中から新しい運動をするために更に活動は継続していきます。

（５）兵庫手話健康対策委員会

ア．定例会議：毎月第２月曜日　19：00～21：00　神戸市立総合福祉センター、兵聴協分室

4/　8（月）　5/13（月）　6/10（月）　7/　8（月）　8/25（日）　9/　9（月）

10/　7（月）　11/11（月）　12/９（月）　1/　8（木）　2/10（月）　3/　9（月）

イ．構成委員：（兵聴協）仲井・木戸・中村泰

（県サ連）苗村・江木・波々伯部

（兵通研）秦野・栗林・阿部

ウ．活動内容

8/25（日）令和元年度けいわん学習会

日　　時：８/25（日）

テ ー マ：「みんなで元気になろう」

参　　加：３０名（ろう者１４名・聴こえる人１６名）

講　　師：角田　公秀　氏　（機能訓練指導員）

場　　所：ウィズあかし学習室７０１

兵庫県立聴覚障害者情報センター主催　けいわん検診の協力（受付、アンケートの実施）

１．神戸会場　兵庫県立聴覚障害者情報センター

・　６/２５（火）

・　７/　２（火）

２．高砂会場　高砂市ユーアイ福祉交流センター

・ 7/　4（金）

③西宮会場　西宮市総合福祉センター

・6/21 日（木）

兵庫県立聴覚障害者情報センター主催：ストレスチェックアンケート学習会

・受付２名と通訳２名の協力

・2/25（日）　場所：兵庫県立聴覚障害者情報センター

DVD 製作案の検討

Ｔシャツ作成

エ.【啓発事業】

訪問（オルグ）：1/23（木）手話サークルみき

ろうあ兵庫、県サ連だより、兵通研ニュースに「けいわんニュース」を掲載

学習会、けいわん検診など行事で「ＳＴＯＰ・ザ・けいわんパートⅡ」「身体のストレッチ」の冊子紹介

オ.【総括】

けいわん学習会の「みんなで元気になろう」は機能訓練指導員の講師による自宅でもできる筋トレ、ストレッチなどの講義をききながら実際に体を動かした。

今年度は訪問（オルグ）1 件訪問し、けいわんが起こるしくみ、けいわんの予防が大事だと講演し体操もおこなった

けいわん予防の啓発のため DVD 作成し気軽に体操をしてもらえるような内容の考案を行った。肩甲骨を意識したＴシャツをデザインし、委員が着用して体操をおこない参加者に印象付けの効果も期待したい。

（6）災害対策委員会

ア. 委員会：5/25・7/27、1/17、2/1

イ. 構成委員：（兵聴協）嘉田、岩本　（県サ連）今井、吉村　（兵通研）竹原、鞍富

ウ. 検討事項

・災害対策委員会の活動内容について

・ひょうご安全の日のつどい参加について

・『ろうあ兵庫』掲載内容について

・防災学習会開催について

エ.　活動内容

・兵庫県聴覚障害者文化祭　（9/28）兵庫県立聴覚障害者情報センター　防災グッズ展示

・ひょうご安全の日(1/17)　HAT 神戸内なぎさ公園

・情報センター災害学習会（１１/2、2/1）の要員協力

オ. 啓発事業

・ろうあ兵庫に「災害対策委員会ニュース」を掲載

・聴覚障害者文化祭にて防災に関する避難グッズ、パンフレットを展示

カ. 総括

災害対策委員会独自の活動の充実を図っていく

（7）聴覚障害者の医療を考える会

ア．聴覚障害者の医療を考える（“いのち”を考える会）

- 5/23（木）第175回「子どものアレルギー」～若いお母さんのために～
  講師：森岡 芳雄 医師　　参加者28名（聴覚障害者8名）
- 7/25（木）第176回「麻疹・風疹」～かかったことがあるから大丈夫。それ、ホント？～
  講師：鷲尾 隆太 医師　　参加者42名（聴覚障害者12名）
- 9/26（木）第177回「レジオネラ肺炎」～これ何？私たちがかかる病気なの？～
  講師：和久 晋三 医師　　参加者26名（聴覚障害者9名）
- 11/24（日）第178回（第17回） 出前“いのち”in北播（加東市）
  「大人になって出たてんかん発作」
  ～何が起こったの？心配な病気なの？何に気をつけたら良いの？～
  講師：千葉 義幸 医師　　参加者40名（聴覚障害者10名）
- 3/26（木）第179回　　※新型コロナウイルス対策のため中止
  「今でもかなり恐い病気、結核」～若い人の備えと年寄りの備え～
  講師：谷向 茂厚 医師

【評価】

- 1987年から、保険医協会の協力と兵聴協との連携により32年間継続できている。
- 近年患者数が増えている感染症をテーマにとりあげた。
- 神戸以外の地域で行う「出前“いのち”」は北播地域班の協力のもと、加東市で開催した。テーマは地域班からの希望により決定した。2010年に加東市で開催したときの講師も参加され、また休憩の時間にけいわん体操を行い、充実した会となった。
- 医療班員の医師と、“いのち”を考える会の講師として招いた医師との、医師同士の情報交換や、講師とろう者との交流もあり、啓発活動につながった。

イ．県内行事に参画し「健康相談・血圧チェック・口腔衛生・お薬相談・検査相談・リハビリ相談コーナー」を設けた

- 聴覚障害者文化祭では、大阪の薬剤師（ろう１名、健聴１名）とともに対応した。
- 新年大会では広いスペースが設けられていたため、落ち着いて利用してもらえた。
- 医療班員の参加者が少なく、対応できるコーナーが限られたが、これらの取り組みは今後も聴覚障害者の健康への関心につながるよう継続していきたい

【課題】

- “いのち”を考える会に若い参加者が少ないこと。
- すべてのコーナーを安定して設けられるように医療関係者仲間の拡充を図ること。

（8）労働連絡会

ア．委　　員：当法人理事、支援団体の専任通訳者手話協力員、障害者支援専門員、障害者職業相談員
イ．会議日程：４月６日（土）・令和２年１月１８日（土）
ウ．参加人数：８名
エ．場　　所：神戸市

オ．内　　容：聴覚障害者をとりまく就労問題について情報を交換
就労問題の解決に向けて労働環境を整備
手話協力員の配置日及び時間体制の情報公開の実施

（9）手話研究プロジェクト

「兵庫の地名や建物などの手話創作（表現）」を研究及び創作する。

ア．会議日時：9月8日、1月11日、2月17日

イ．構成委員：今泉友幸（猪名川）、末吉正朋（伊丹）、村上里美（姫路）、檀上千恵（西宮）、小川知子（神戸）、清水（神戸）、嘉田眞典（理事、神戸）

ウ．会議場所：神戸市障害者福祉センター、神戸市勤労会館

【参考資料】

1．ひょうご聴覚障害者事業所連絡会

県内の聴覚障害者事業所関係者が集い、文化祭のステージで各作業所より取組みなど紹介発表を行ないました。また、各事業所利用者、職員の交流促進、事業所職員に実践的な知識を習得するための研修会の参加を促し、開催にあたり協力をいただきました。

今後の課題について、全体会議・職員研修等を継続していきたい。

（1）作業所ふれあい交流会

- 日　　時：令和1年9月28日（土）
- 場　　所：神戸市灘区民ホール（大ホール）
- 報告内容：兵庫県聴覚障害者文化祭のステージによる作業所の紹介等
- 参加事業所：（たつのこ、神戸ろうあハウス、おのころ、はりま、にしのみや）

（2）職員研修

- 日　　時：２０１９年１１月１６日（土）～１７日（日）
- 場　　所：立命館大学大阪いばらきキャンパス（大阪府）
- 内　　容：第２３回全国聴覚言語障害者福祉研究交流集会
全体講演・入門講座・実践交流会（分科会）・なかまのつどい
- 参加事業所：神戸ろうあハウス、おのころ、たじま、にしのみや